

【「技芸を磨く実学」の奨励（スポーツ・文化芸術）】

1	国際イベントの状況.....	1
2	スポーツ・文化芸術活動等の現状.....	6
3	県の実施事例.....	20
4	県教育振興基本計画における「技芸を磨く実学」の奨励に 関連する施策とその位置付け.....	41
5	出典一覧.....	49

1 国際イベントの状況
(1) 国際イベントの県内開催状況 (2018 年度以降)

1 スポーツ関係

	名称	開催日程	開催地(市町)
1	2018 S B S カップ国際ユースサッカー	2018.8.16 ~ 8.19	藤枝、沼津、静岡
2	ラグビーワールドカップ 2019	2019.9.20 ~ 11.2	袋井
3	東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会(自転車競技)	2020.7.24 ~ 8.9 2020.8.25 ~ 9.6	伊豆、小山

2 文化・芸術関係

	名称	開催日程	開催地
1	ふじのくに せかい演劇祭 2018	2018.4.28 ~ 5.6	静岡市
2	第 20 回記念アジア太平洋吹奏楽大会	2018.7.19 ~ 7.22	浜松市
3	浜松国際管楽器アカデミー & フェスティ ヴァル	2018.7.31 ~ 8.5	浜松市
4	大道芸ワールドカップ in 静岡	2018.11.1 ~ 11.4	静岡市
5	浜松国際ピアノコンクール	2018.11.7 ~ 11.25	浜松市
6	2020 年東京オリンピック・パラリンピッ ク文化プログラム	2018 ~ 2020	県内各地
7	第 9 回静岡国際オペラコンクール	2020.10.31 ~ 11.8	浜松市

ラグビーワールドカップ 2019 の開催

(ラグビーワールドカップ2019推進課)

1 要 旨

ラグビーワールドカップ 2019 の本県開催に向け、市町や関係団体と協力し大会開催準備や機運の盛り上げを図るとともに、経済効果や知名度の向上につながる大会の開催効果を県内に波及させ、あわせて県内のスポーツ振興や国際交流の促進を図る。

2 大会概要

主 催	ワールドラグビー (所在地: アイルランド・ダブリン)		
開催時期	2019年(平成31年)9月20日(金)~11月2日(土) ・開幕戦 9月20日 19:45~ 日本 ロシア(東京スタジアム) ・決勝戦 11月2日 18:00~ (対戦カード未定) (横浜国際総合競技場)		
参加チーム数	日本代表を含む 20 チーム		
試合形式	予選プール 5 チーム×4 プール(プール内総当たり戦) 40 試合 決勝トーナメント 準々決勝、準決勝、3 位決定戦、決勝: 8 試合		
開催都市 (12 都市・ 19 自治体)	東京都、札幌市、岩手県・釜石市、埼玉県・熊谷市、 神奈川県・横浜市、静岡県、愛知県・豊田市、大阪府・東大阪市、 神戸市、福岡県・福岡市、熊本県・熊本市、大分県		
静岡県での 試合	9月28日(土)16:15~	日本	アイルランド
	10月4日(金)18:45~	南アフリカ	イタリア
	10月9日(水)16:15~	スコットランド	ロシア
	10月11日(金)19:15~	オーストラリア	ジョージア
開催効果	経済波及効果: 約4,200億円、訪日外国人数: 約40万人、 雇用創出効果: 最大3.9万人、 「Ernst&Young」社よる試算(2015年9月)		

3 ラグビーワールドカップ 2019 の開催準備等の取組 (H30 年度)

項目	内容
開催準備	<ul style="list-style-type: none"> ・交通輸送、警備及びファンゾーンに係る計画策定 ・ボランティア募集、面接、採用、研修 ・チケット販売促進支援 ・エコパ記者席改修等設計
機運醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・トップリーグ、ラグビーフェスティバル、女子7人制シリーズでのPR ・500日前、1年前イベント等の実施 ・開催都市特別サポーター、SNSを活用したPR等 ・タグラグビー教室等によるラグビーの普及促進

東京オリンピック・パラリンピック自転車競技の本県開催

(オリンピック・パラリンピック推進課)

1 要旨

東京オリンピック・パラリンピック自転車競技について、BMXを除く全ての自転車競技が本県で開催されることとなった。組織委員会、施設所有者、関係市町などの関係機関と連携し、万全の準備を進める。

2 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催概要

(1) オリンピック 平成 32 (2020) 年 7 月 24 日 (金) ~ 8 月 9 日 (日)

種別 (日程)	種目	会場
トラックレース (8/3-8/9)	男女 6 種目 (スプリント、ケイリンなど)	伊豆ベロドローム (伊豆市)
ロードレース (7/25, 26, 29)	男女 2 種目 (ロードレース、個人タイムトライアル*)	スタート: 武蔵の森公園 (東京都調布市) ゴール: 富士スピードウェイ (小山町)
マウンテンバイク (7/27, 28)	男女 1 種目 (クロスカントリー)	伊豆マウンテンバイクコース (伊豆市)
BMX (7/30-8/2)	男女 2 種別 (レーシング、フリースタイル)	有明 BMX コース (東京都江東区)

* 個人タイムトライアルの会場については、スタート、ゴールとも富士スピードウェイ

(2) パラリンピック 平成 32 年 (2020) 年 8 月 25 (火) ~ 9 月 6 日 (日)

種別 (日程)	部門 (対象の障害)、クラス分類	会場
トラックレース (9/2-5)	C 部門 (四肢機能障害、麻痺等) 5 クラス B 部門 (視覚障害) 1 クラス	伊豆ベロドローム (伊豆市)
ロードレース (8/27-30)	C 部門 (四肢機能障害、麻痺等) 5 クラス H 部門 (脊髄損傷等) 5 クラス T 部門 (重度の麻痺) 2 クラス B 部門 (視覚障害) 1 クラス	スタート/ゴール (富士スピードウェイ)

競技日程については、立候補ファイル時のものであり今後変更の可能性有り。

現在、大会組織委員会とUCIとが協議を行っているところであり、大会組織委員会は今夏のIOCの理事会での承認を目指している状況。

3 これまでの経緯

平成 26 年 12 月 8 日	IOC が「アジェンダ 2020」を採択 IOC が開催費の抑制を図るため、既存施設の最大限の活用促進と開催都市以外での競技開催を容認
平成 27 年 12 月 9 日	IOC 理事会において、オリンピック自転車競技会場 (トラックレース / MTB) の伊豆への変更を承認
平成 28 年 4 月 16 日	IPC 理事会において、パラリンピック自転車競技会場 (トラックレース) の伊豆への変更を承認
平成 30 年 2 月 3 日	IOC 理事会において、オリンピック自転車競技のロードレースのゴール会場を富士スピードウェイとすることを決定
平成 30 年 3 月 7 日	IPC 理事会において、パラリンピック自転車競技のロードレースのスタート・ゴール会場を富士スピードウェイとすることを決定


オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進

(文化政策課)

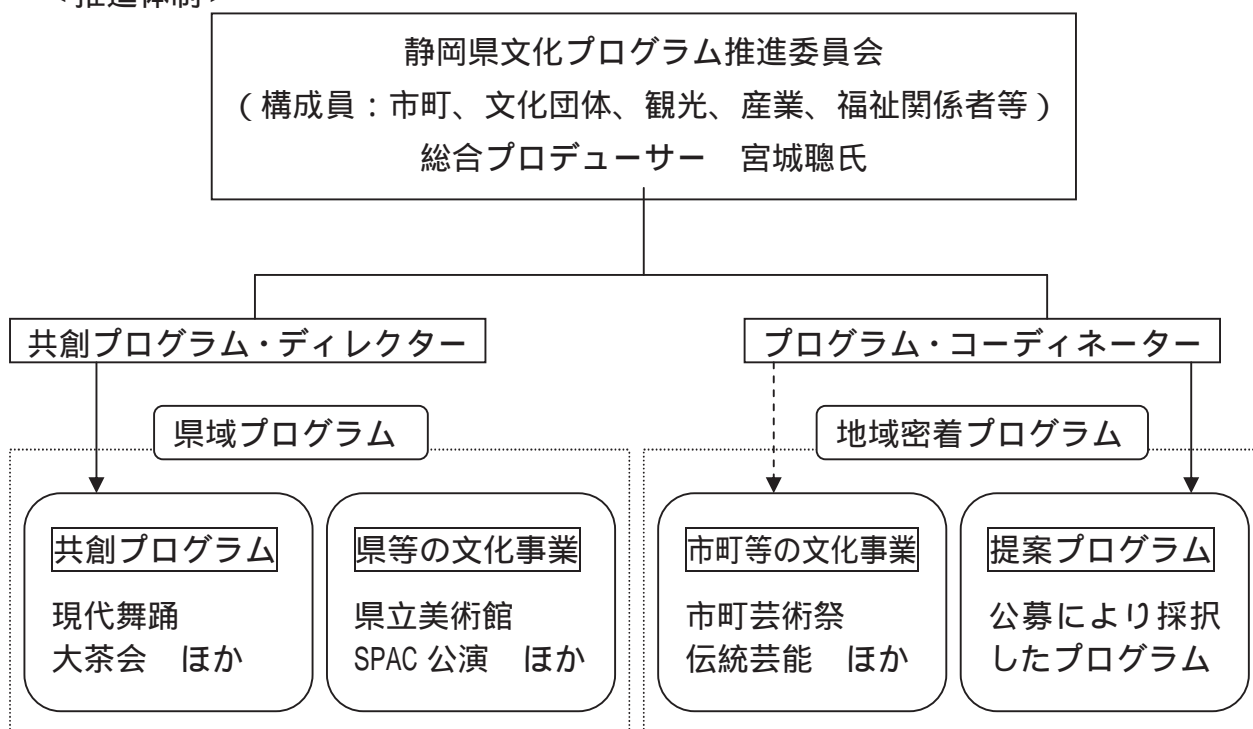
1 要 旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック「文化プログラム」を県内各地で多彩かつ重層的に展開していくため、平成29年度から実施している提案プログラムや、市町等の文化事業を「地域密着プログラム」、推進委員会が企画・実施する「共創プログラム」や県事業を「県域プログラム」と位置づけ、広報や支援活動を行う。

2 事業概要

区 分		内 容	
地域密着プログラム	提案プログラム	公募により採択したプログラムの実施 (H29:13本、H30:12本)	
	市町等が行う文化事業	市町芸術祭、伝統芸能ほか	
県域プログラム	共創プログラム	推進委員会が、2019年度、2020年度に企画・実施するプログラムの準備(現代舞踊、大茶会等)	
	県等が行う文化事業	県立美術館企画展、SPAC公演、県芸術祭ほか	
広報活動・支援活動		プログラム認証による裾野拡大 (シンボルマークの活用等)	
		500日前フォーラム等開催 (平成31年3月)	
		プログラム・コーディネーター等による支援	

< 推進体制 >



1 国際イベントの状況
(2) 国際イベントの県内キャンプ地等

1 ラグビーワールドカップ 2019

	キャンプ地	国
1	静岡市	イタリア
2	浜松市	日本、スコットランド
3	掛川市・磐田市	アイルランド、ロシア、オーストラリア
4	御前崎市	南アフリカ、ジョージア

2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

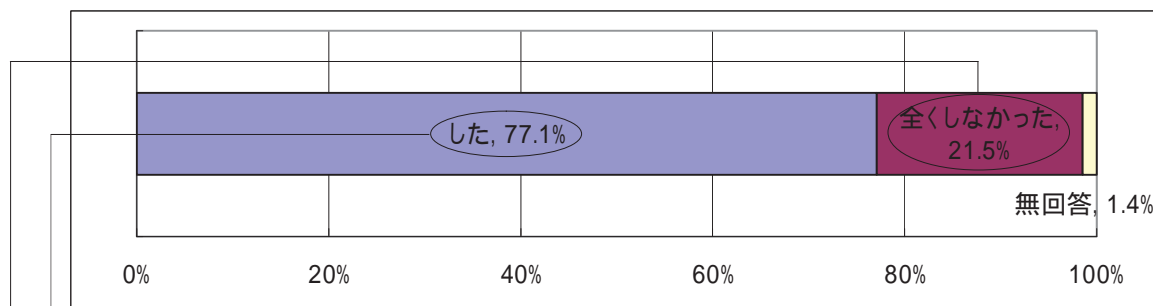
	キャンプ地	国	種目
1	焼津市	モンゴル	レスリング(オリンピック) 陸上(パラリンピック)
2	伊豆の国市	モンゴル	柔道(オリンピック/パラリンピック)
3	藤枝市	イタリア	柔道(オリンピック)
4	富士宮市	スペイン	空手道(オリンピック)
5	島田市	モンゴル	ボクシング(オリンピック)
6	湖西市	スペイン	卓球(オリンピック)
7	浜松市	ブラジル	全競技
8	静岡市	台湾	陸上(オリンピック)
9	静岡市	スペイン	バドミントン(オリンピック/パラリンピック)
10	掛川市	台湾	アーチェリー(オリンピック)
11	牧之原市・下田市	アメリカ	サーフィン(オリンピック)
12	牧之原市	中国	サーフィン(オリンピック)
13	御殿場市	イタリア	空手(オリンピック)
14	島田市	シンガポール	卓球(オリンピック)

2 スポーツ・文化芸術活動等の現状

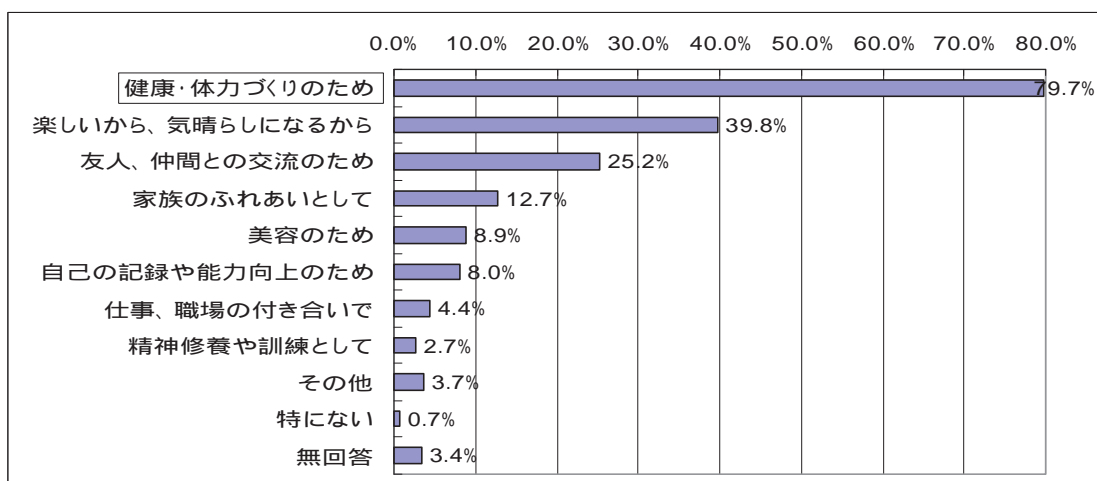
1 スポーツについて（県の状況）

（出典：県教育政策課「県の教育施策に関する意識アンケート（平成29年度）」）

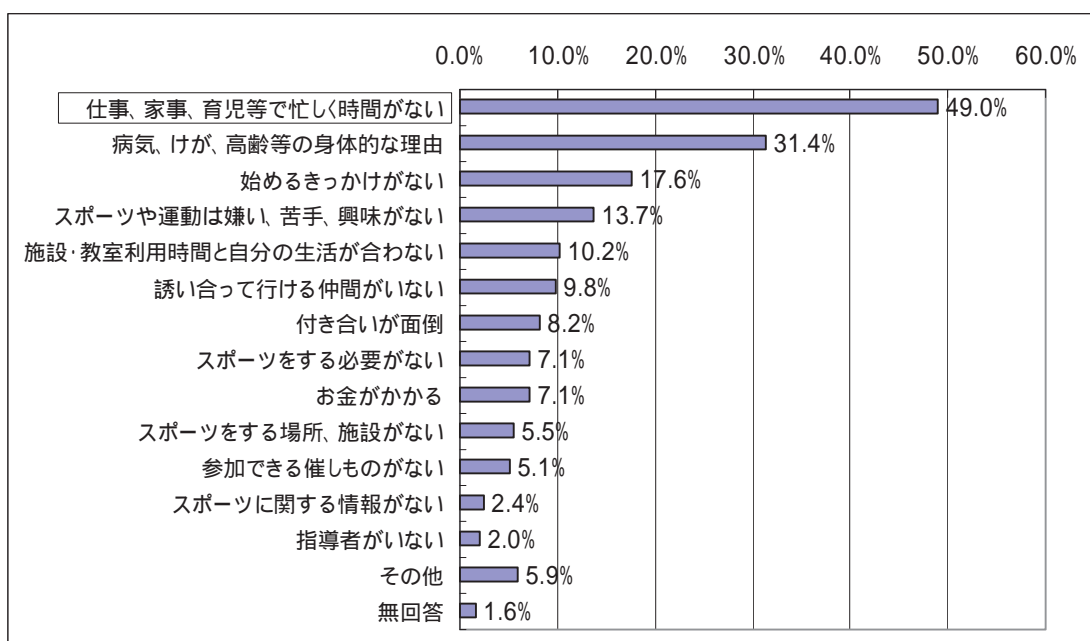
(1) 昨年1年間にスポーツ（散歩や軽運動を含む）をしたことがある人の割合



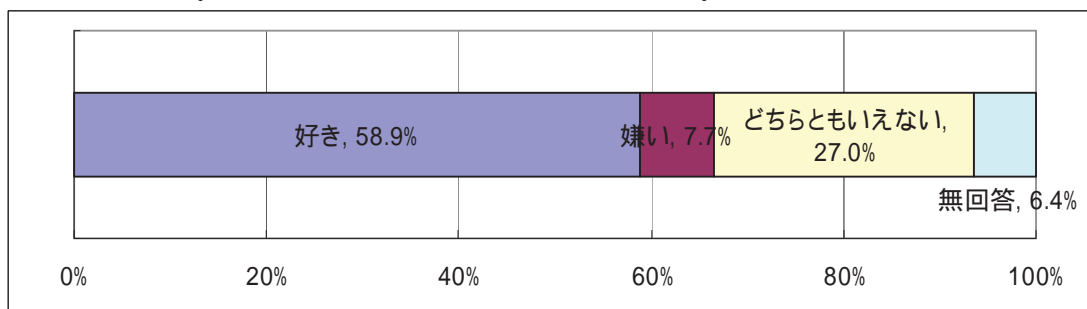
(1) スポーツ（散歩や軽運動を含む）をする理由（3つまで回答）



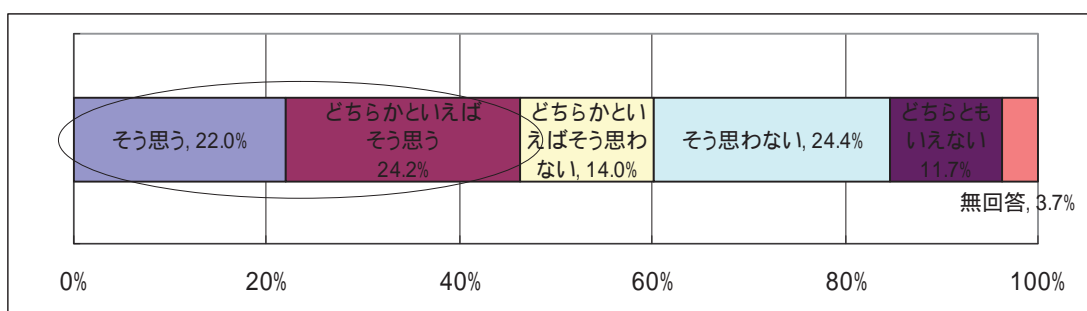
(1) 昨年、スポーツ（散歩や軽運動を含む）を全くしなかった理由（3つまで回答）



(2) スポーツ観戦（テレビ・ラジオによる観戦等も含む）が好きな人の割合



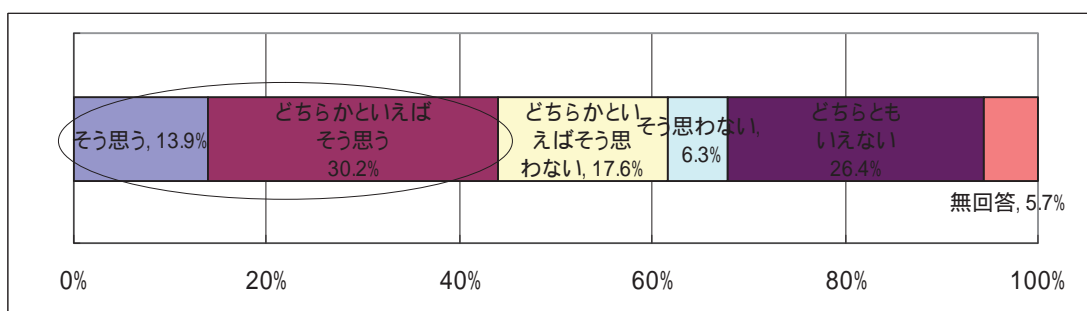
(3) 中学校や高校における体育の授業が、その後のあなた自身のスポーツの実施に影響を与えている（与えた）と思うか



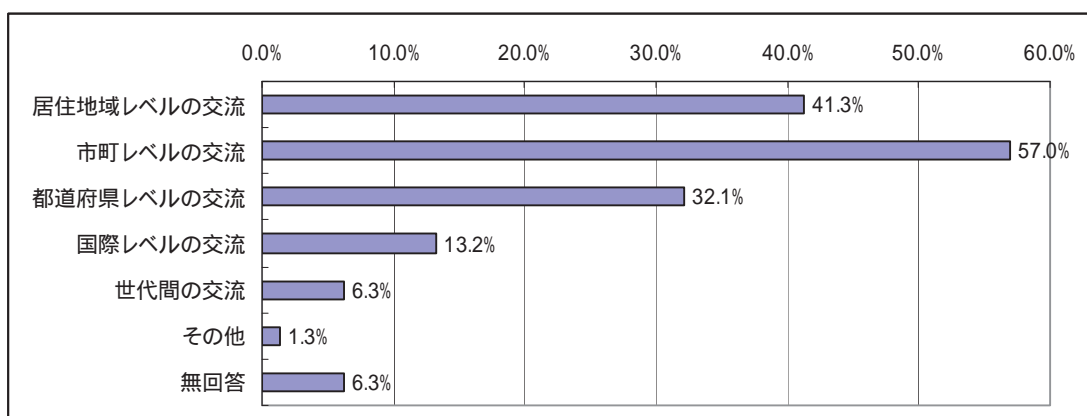
2 スポーツ活動やスポーツイベントを活用した交流について

（出典：県教育政策課「県の教育施策に関する意識アンケート（平成29年度）」）

(1) 今の静岡県で、「スポーツを通じた交流が行われている」と思うか



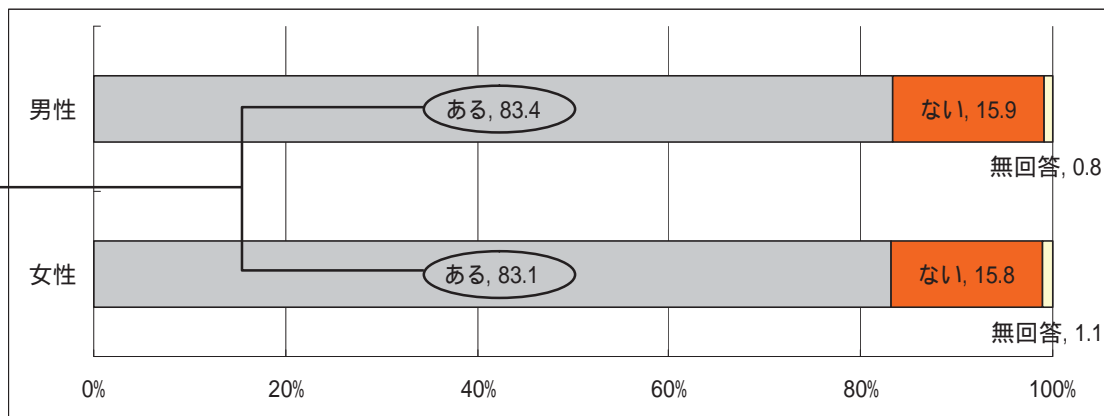
(2) どのようなスポーツ交流が行われていると思うか（複数回答）



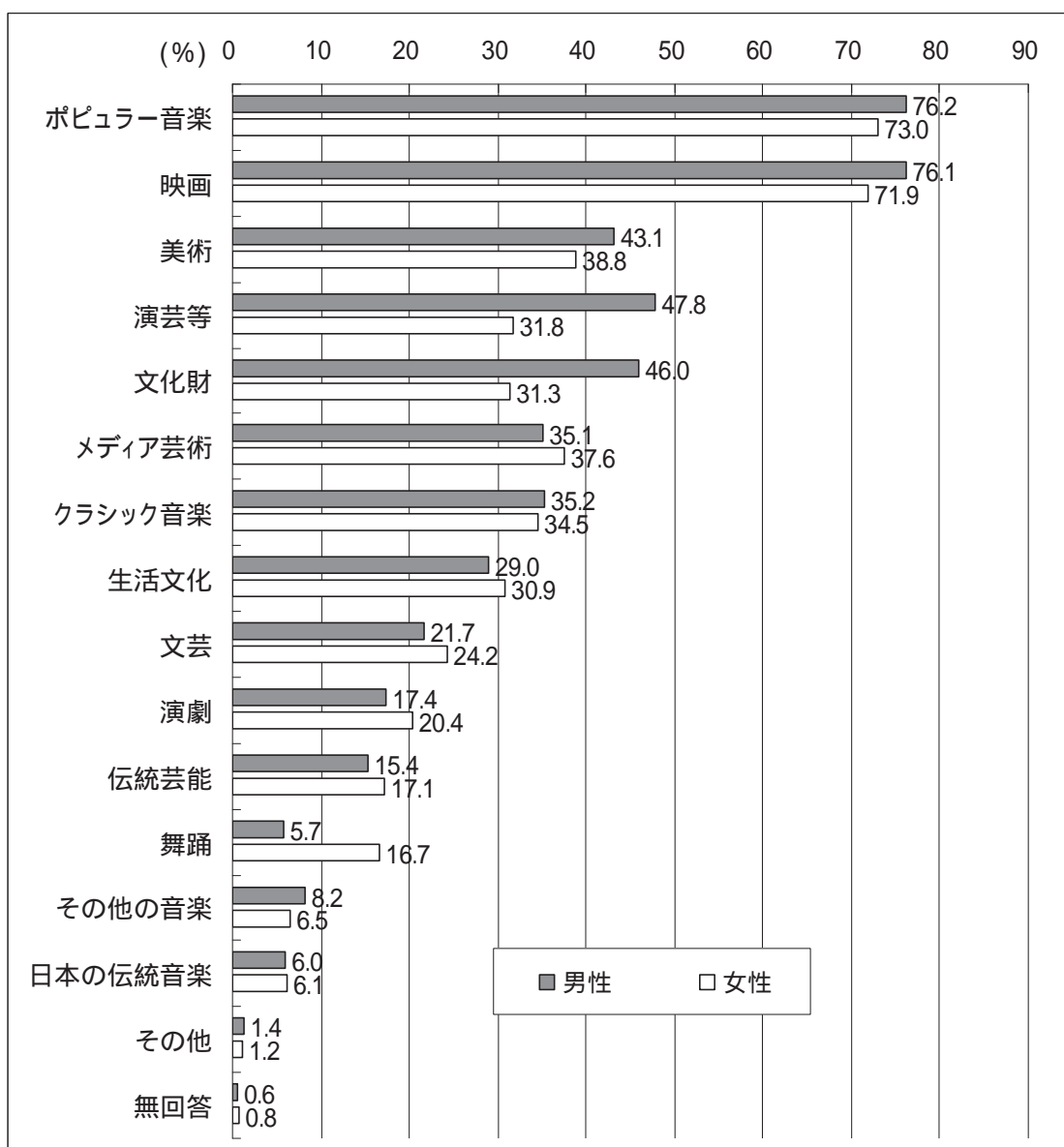
3 文化・芸術の鑑賞・活動について（県の状況）

（出典：県文化政策課「文化に関する意識調査（平成27年度）」）

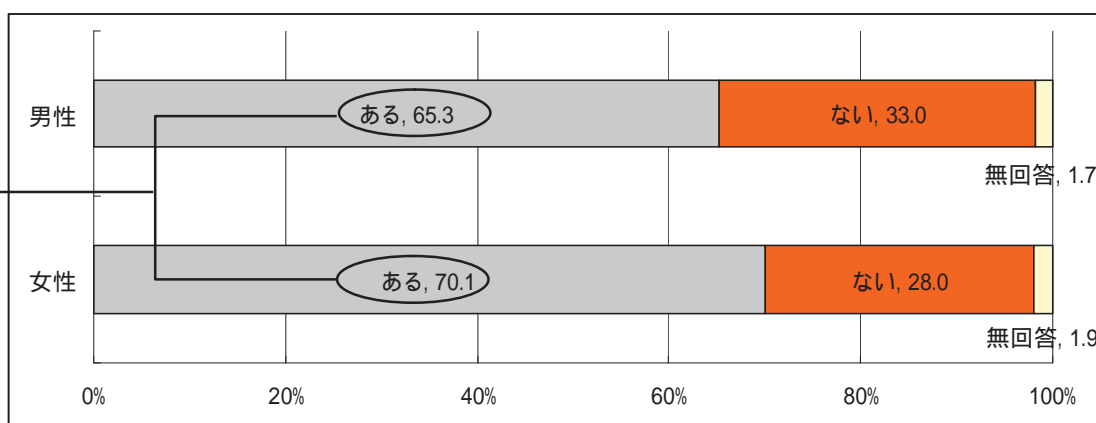
(1) 昨年1年間に、メディア(テレビ、インターネット、DVD、電子・紙媒体書籍等)を通して、文化・芸術を鑑賞したことがある人の割合



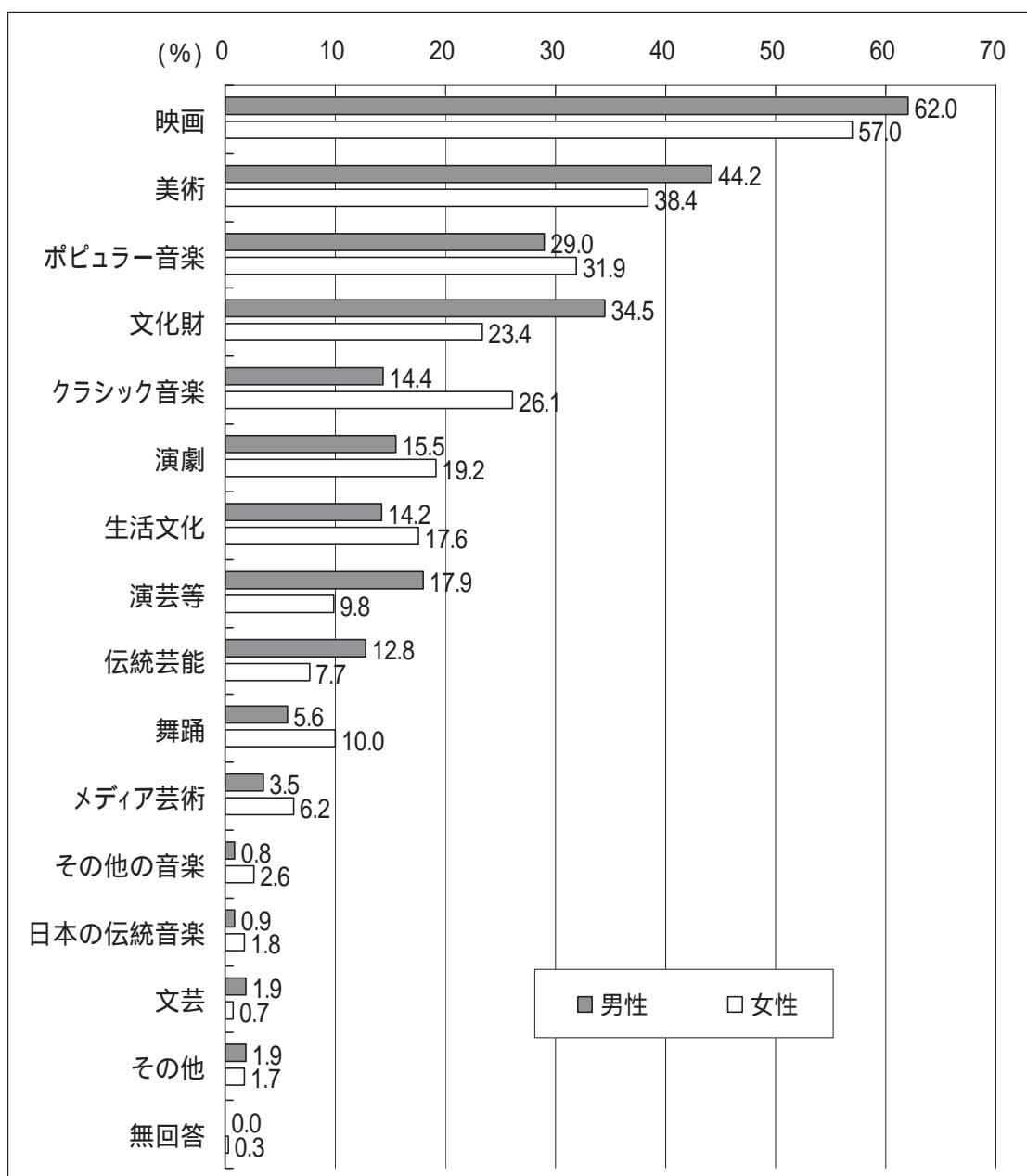
(1) メディアを通して鑑賞した内容（複数回答）



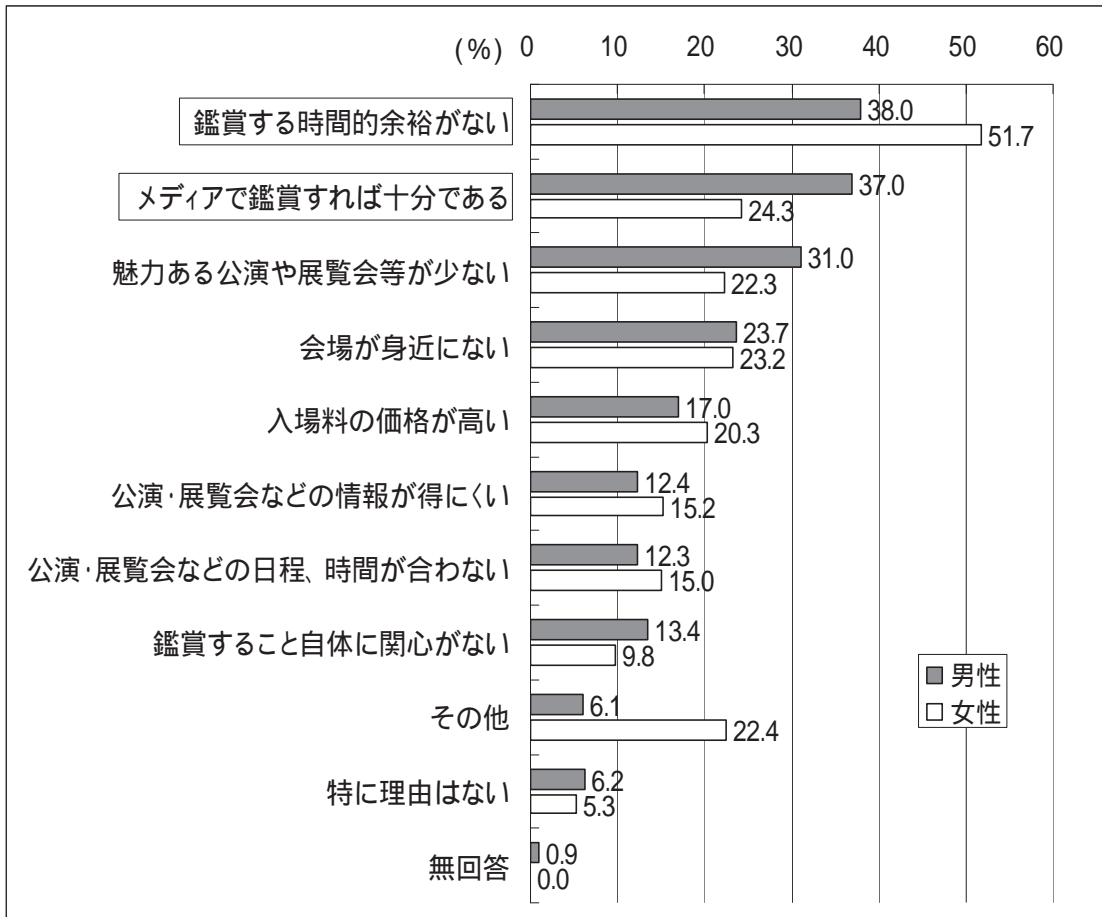
(2) 昨年1年間に、ホールや劇場、映画館や美術館・博物館などの会場で、直接、文化・芸術を鑑賞したことがある人の割合



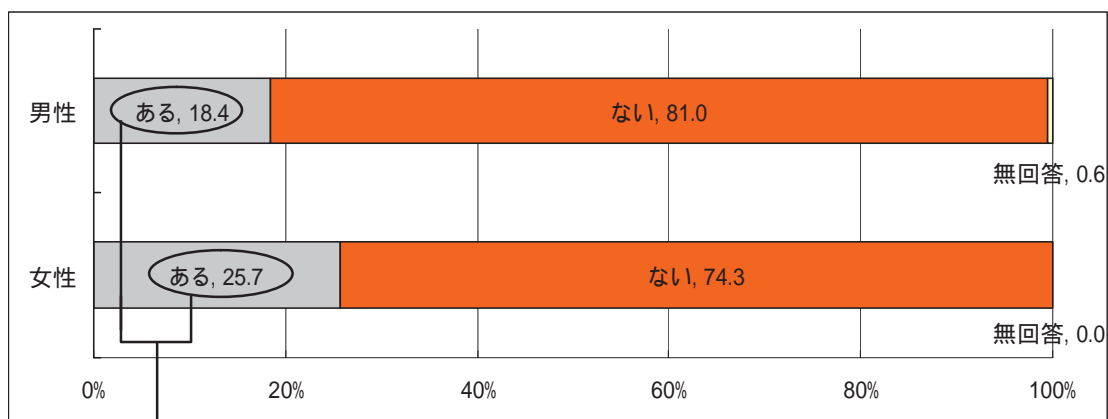
(2) 直接鑑賞した内容（複数回答）



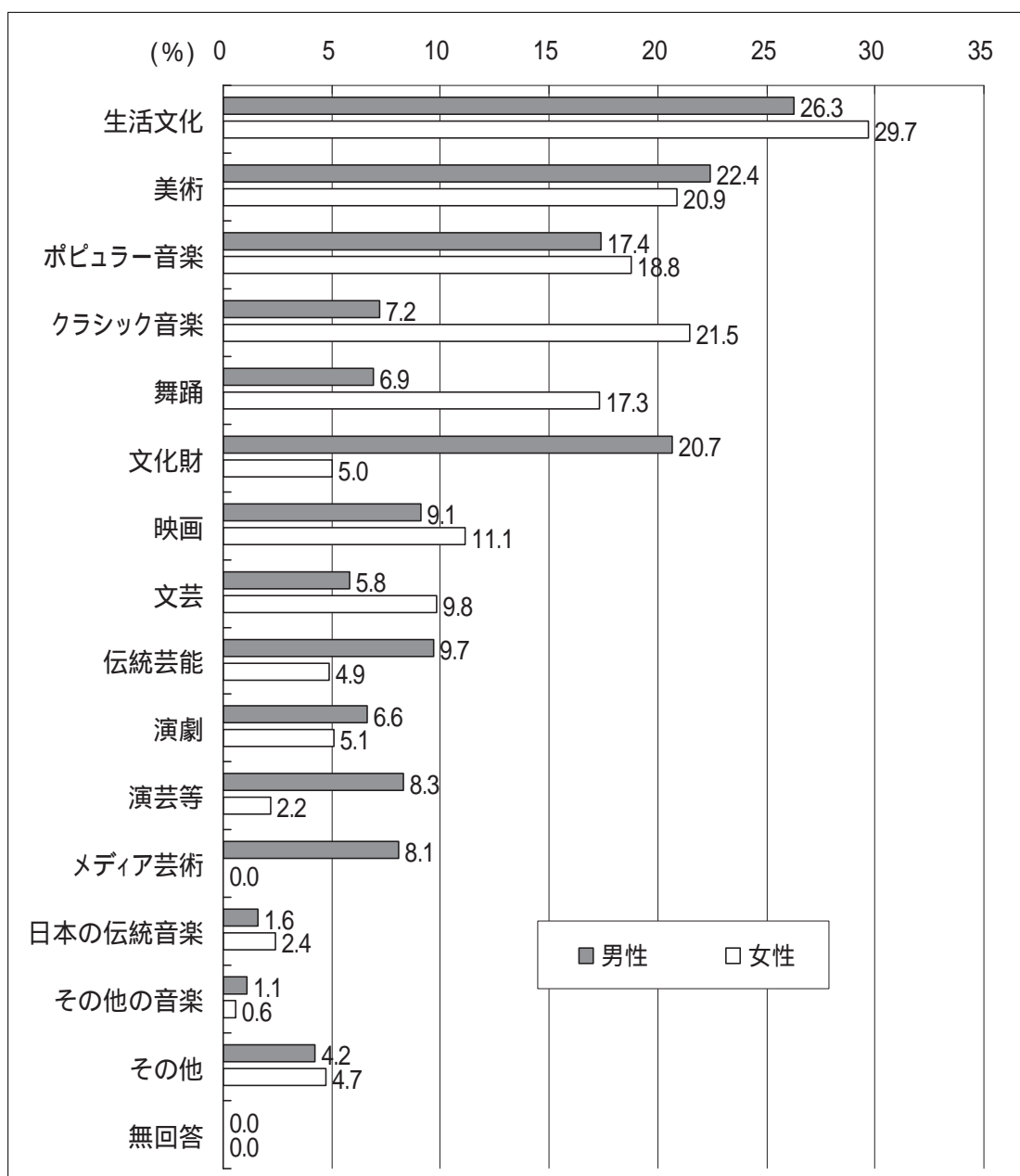
(2) 昨年、鑑賞に出かけなかった理由（複数回答）



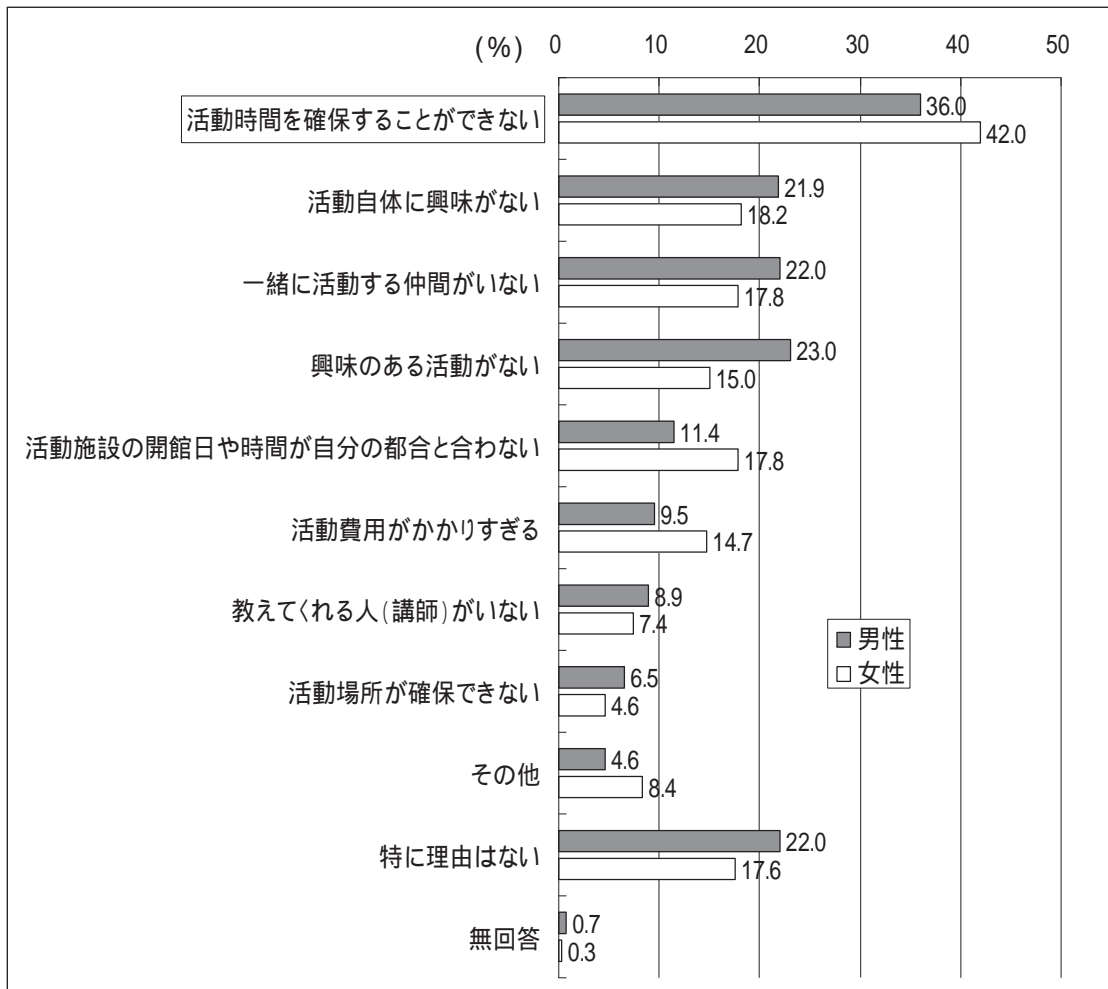
(3) 昨年1年間に、文化・芸術に関することで、個人又はグループで、継続して活動したことがある人の割合



(3) 継続して活動した内容（複数回答）



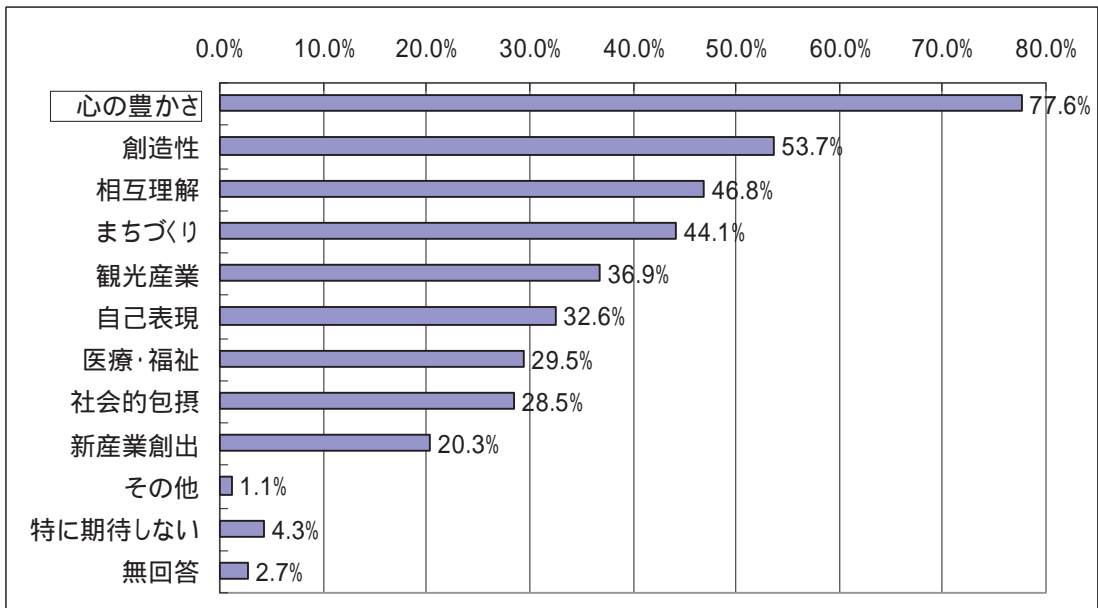
(3) 昨年、活動しなかった理由（複数回答）



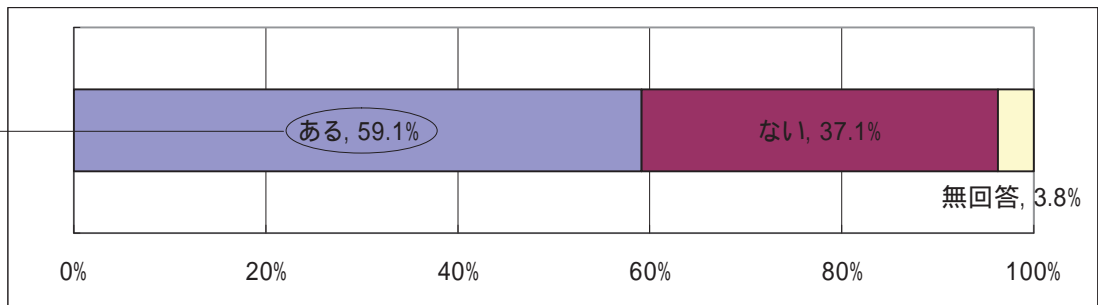
4 県の文化振興について（県の状況）

（出典：県文化政策課「文化に関する意識調査（平成27年度）」）

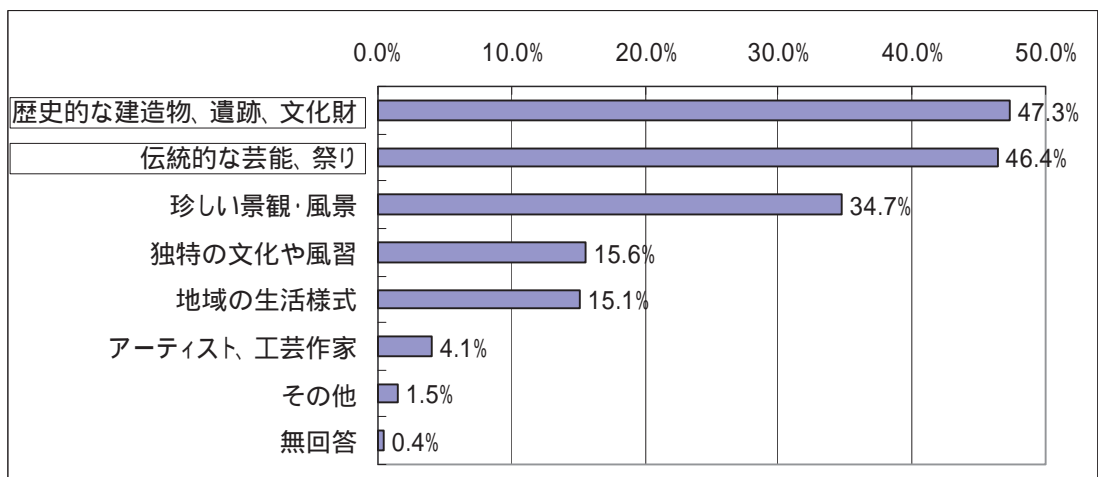
(1) 文化に期待するもの（複数回答）



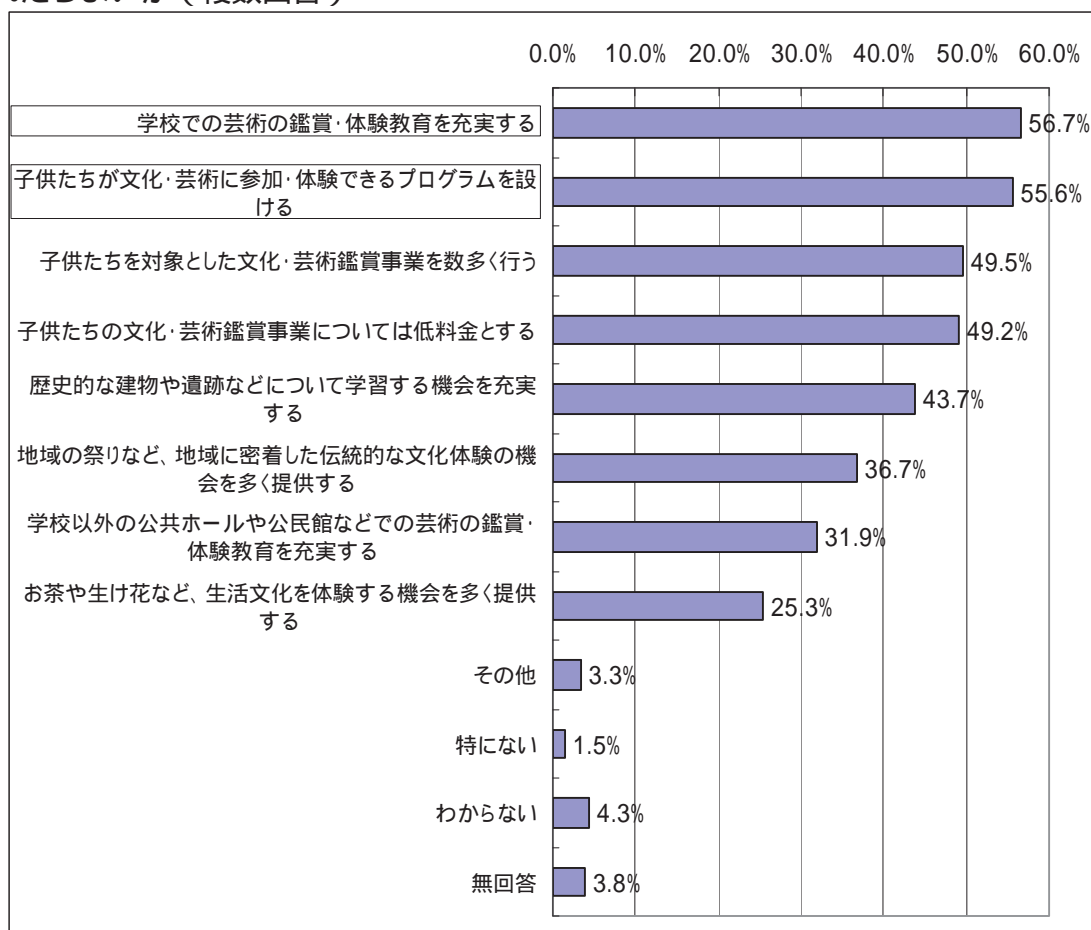
(2) あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域に紹介したくなる文化資源（独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など）があるか



(2) 地域の誇りだと感じられる文化資源（複数回答）

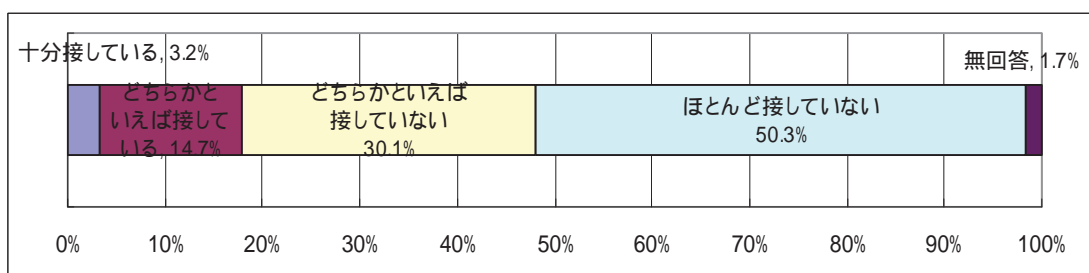


(3) 子供たちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいか（複数回答）



5 外国人や外国の文化に積極的に接しているか（県の状況）

（出典：県教育政策課「県の教育施策に関する意識アンケート（平成29年度）」）

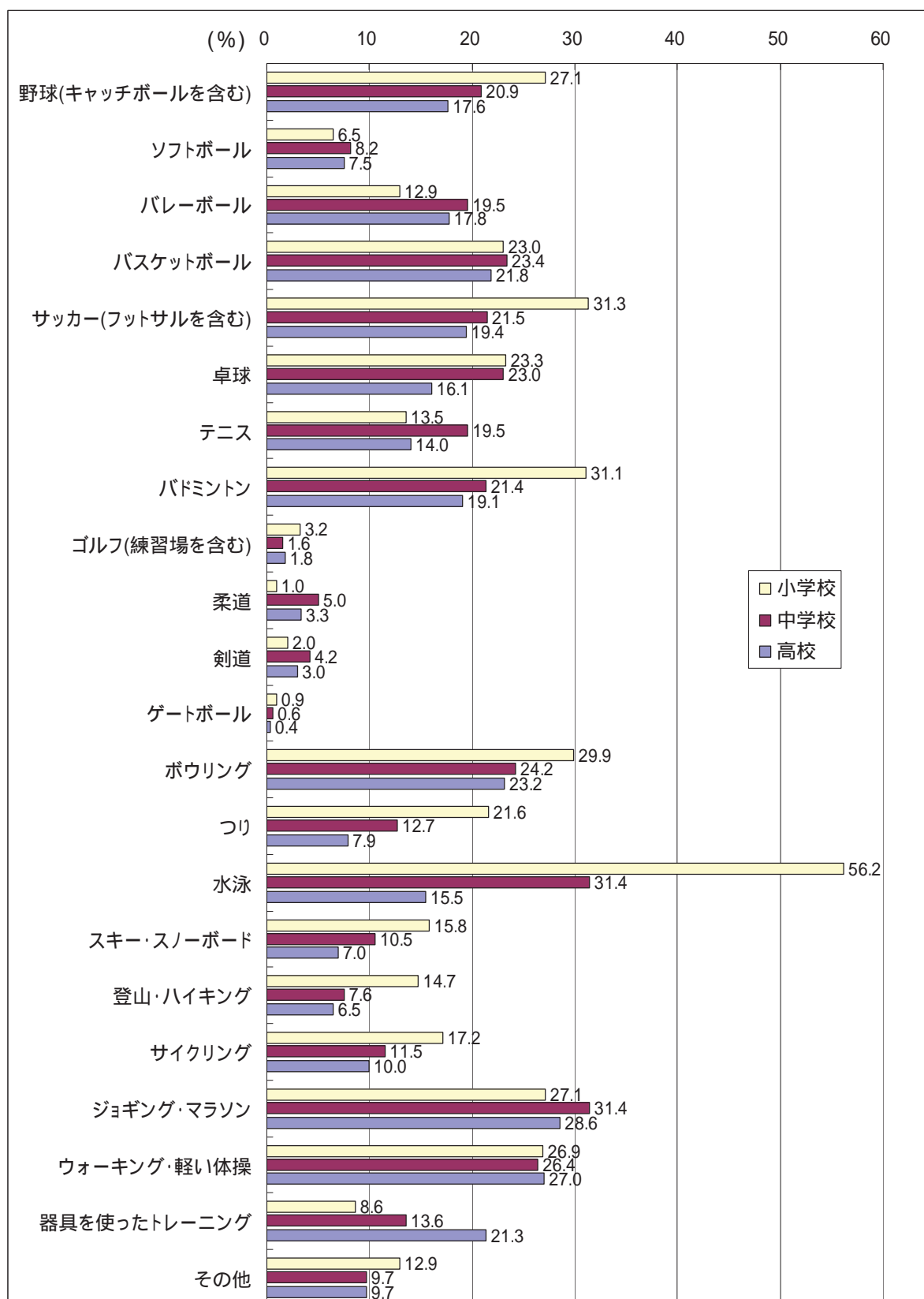


6 子供たちのスポーツ・文化芸術活動等の状況（全国の状況）

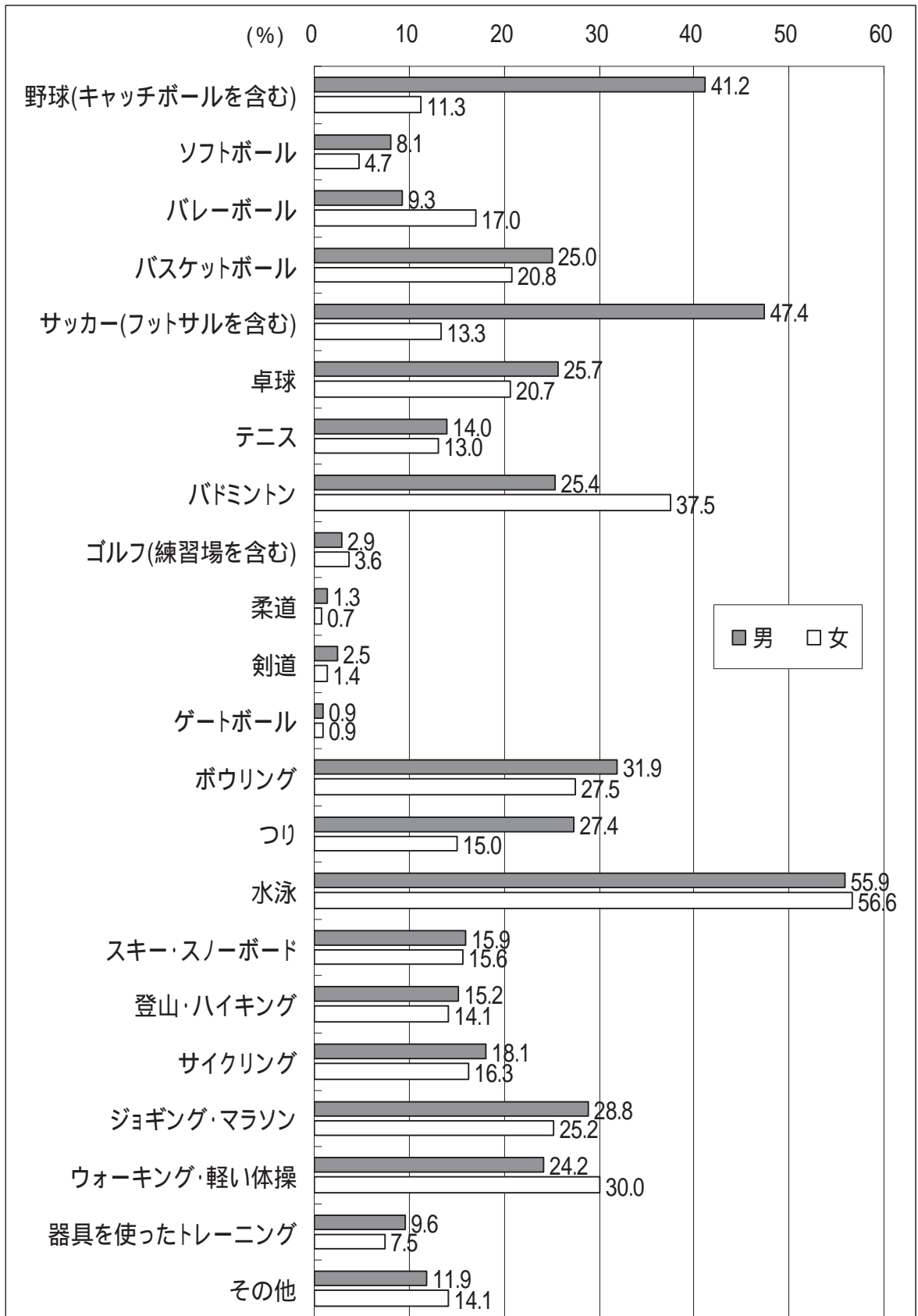
（出典：総務省「平成28年社会生活基本調査 - 生活行動に関する結果 - 」）

(1) スポーツの種類別行動者率(小学校(10歳以上) 中学校、高校)

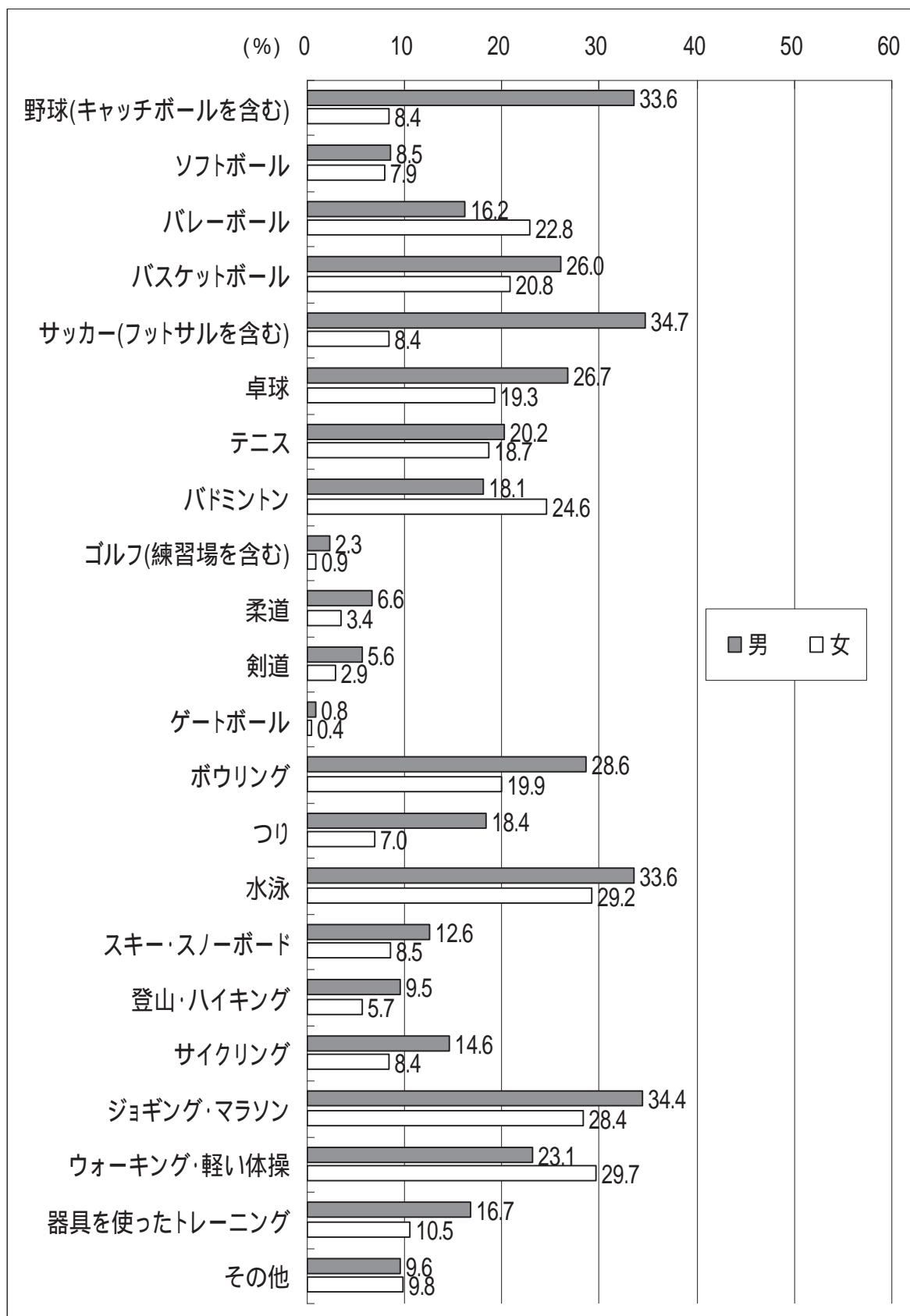
行動者率・・・過去1年間(H27.10.20~H28.10.19)に該当する種類の活動を行った10歳以上の人数の10歳以上人口に占める割合(%) (以下同じ)



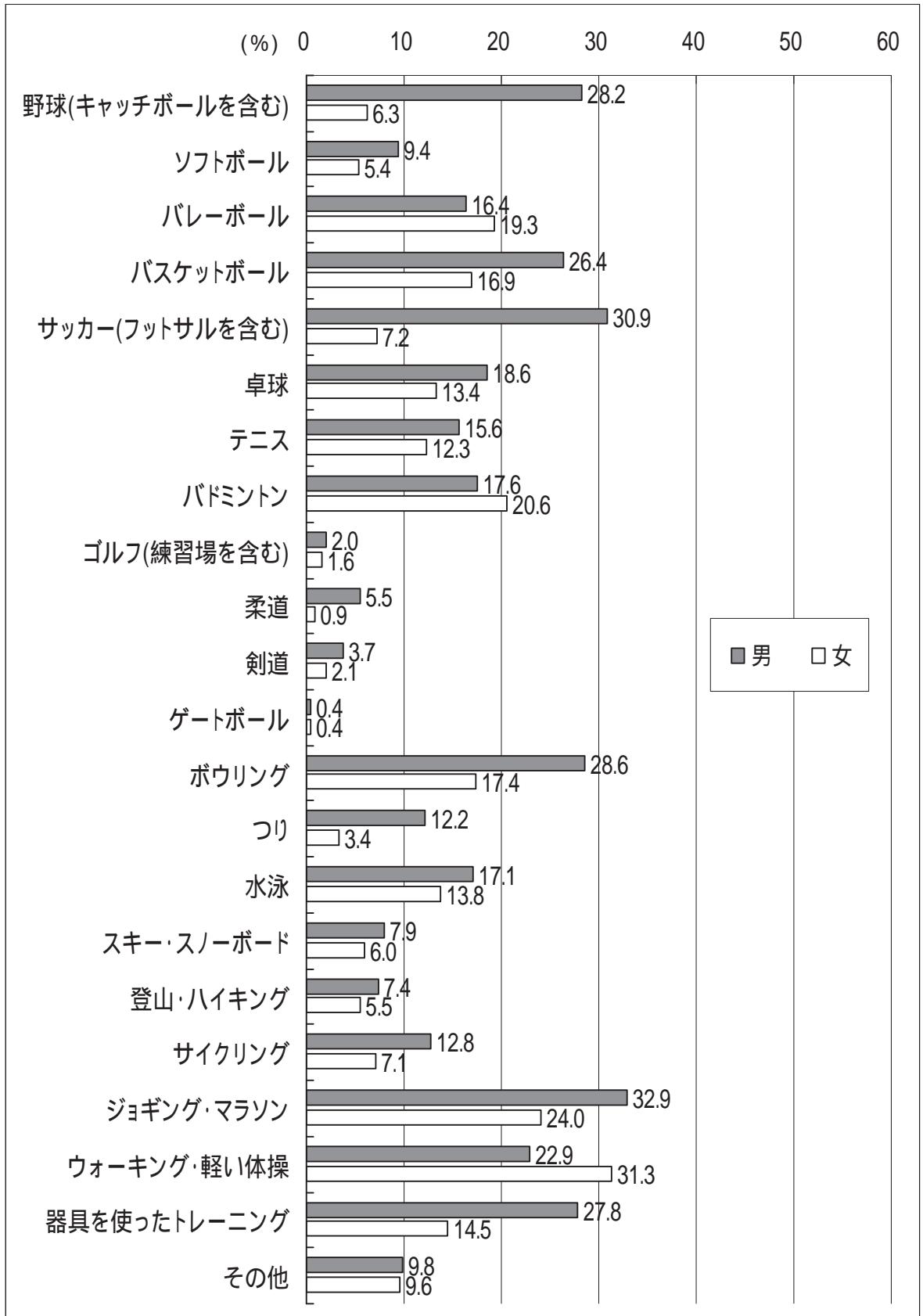
小学生男女別（10歳以上）



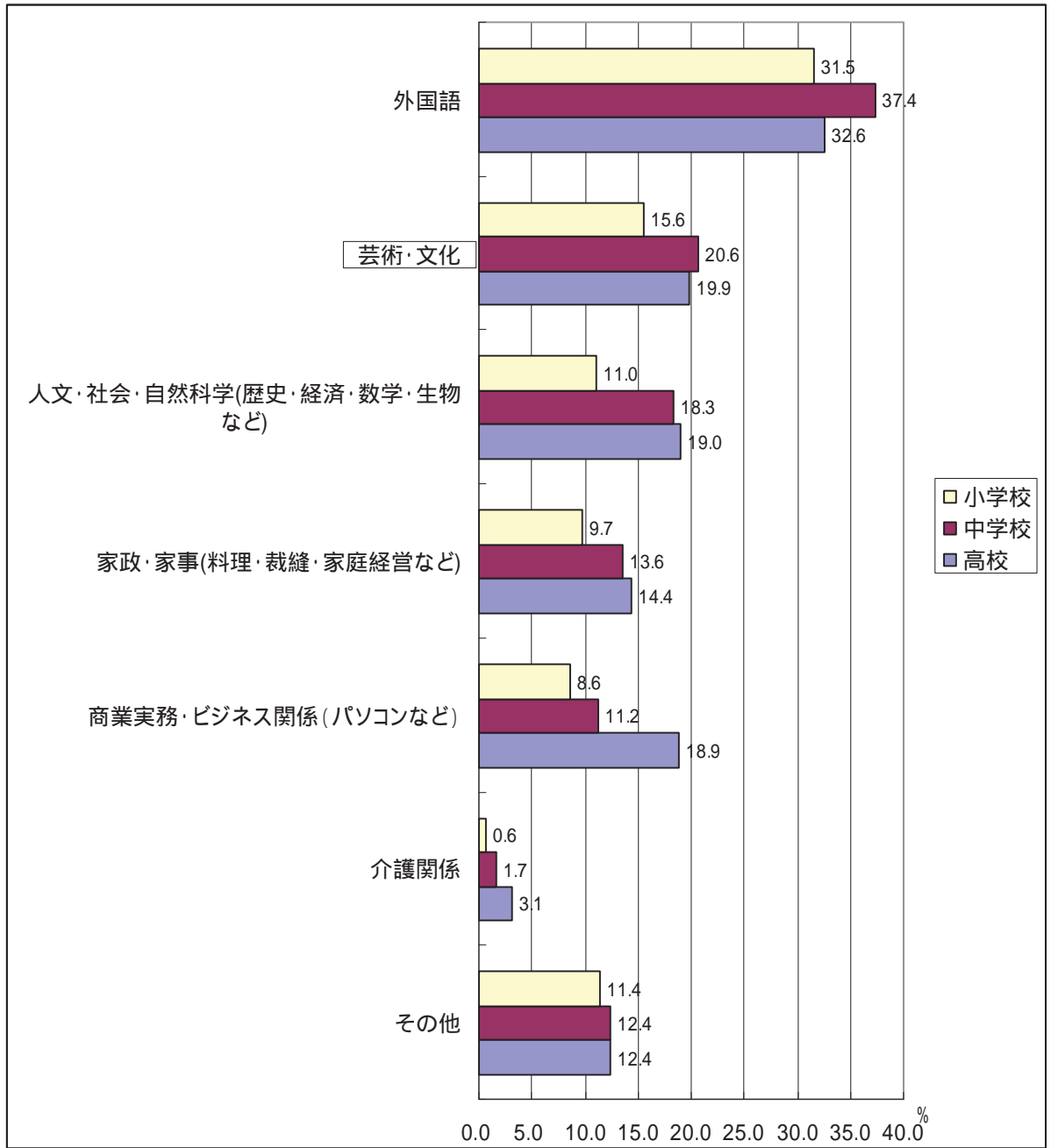
中学生男女別



高校生男女別



(2) 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率（小学校（10歳以上）、中学校、高校）



3 県の取組事例

(1) 子供たちのスポーツ活動の促進

1 県の取組（教育委員会）

	項目	内容
1	スポーツに関する教育 【義務教育課】 【高校教育課】 【特別支援教育課】 【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校では、体育（保健体育）の教科により、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる教育を行っている。 ・また、学校行事を通じて、子供たちがスポーツに親しむ活動を行っている。 ・中学校、高等学校では、部活動により、多様な活動の機会を設け、生徒が自主的、自発的に、スポーツに親しんでいる。
2	新しい専門学科の研究 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため「文・武・芸」三道の鼎立を具現化するための新たな学科（スポーツ科、演劇科、観光科）の設置に関する研究を進める。
3	「体力アップコンテストしずおか」の実施 【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上を図るとともに、運動する習慣や好ましい人間関係を育むため、運動習慣の形成期に当たる小学生を対象に、「体力アップコンテストしずおか」を実施し、優れた成果を上げた学級・学校を表彰する。
4	しずおか型部活動の推進 【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の一層の推進を図るため、指導者の資質向上のための研修会等を実施する。 ・地域のスポーツ指導者や大学生のボランティア等の学校への派遣を継続するとともに、効果的・効率的な部活動の指導体制の構築及び指導方法についての実践研究を行う。
5	全国高校総体開催に向けた準備 【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年に本県を含めた東海ブロックで開催する全国高校総体の開催に向けた準備を行うため、開催実行委員会や高校生活動推進委員会の設置、競技役員養成等を行う。
6	スポーツ人材バンクの管理運営【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ人材バンクを管理運営することにより、地域人材を活用して、部活動や社会教育活動の充実を図る。
7	地域連携によるスポーツ活動の支援 【健康体育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化や生徒のニーズの多様化により、学校に希望する部活動がない等の課題に対応するため、新しい形のスポーツクラブにより、地域等と連携を図り、生徒のスポーツ活動を支援する。

2 県の取組（知事部局）

	項目	内容
1	しずおかスポーツフェスティバル 【スポーツ振興課】	・県内に在住・在勤・在学されているジュニアからシニアまで、幅広い方々が参加可能なスポーツの祭典を県内各地で開催し、生涯スポーツの振興を図る。
2	県民スポーツ・レクリエーション祭 【スポーツ振興課】	・県内各地でニュースポーツの種目別大会を開催し、広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供
3	ニュースポーツふれあいフェスタ 【スポーツ振興課】	・幼児から高齢者まで、誰もがニュースポーツを体験できる機会を設け、広く県民にニュースポーツに触れる機会を提供
4	生涯スポーツ指導者派遣事業 【スポーツ振興課】	・乳幼児期からの取り組みを指導できる指導者を各市町に派遣し、県民の健康・体力づくりを支援し、生涯にわたってスポーツに親しむための資質を育む機会を創出 ・ファミリー・チャレンジ・プログラム（4～6歳の幼児を対象とした親子運動遊びのプログラム）及びふじのくにファミリー・プレイ・プログラム（0～3歳児までを対象にした親子運動遊びのプログラム）を作成し、保育園・幼稚園等でシートを配布するとともに、研修会等を開催
5	スポーツ少年団事業 【スポーツ振興課】	・地域を基盤とした学校教育活動外の青少年のスポーツ活動である「スポーツ少年団」の取組を促進するために、県内のスポーツ少年団の交流事業等を開催する（公財）静岡県体育協会に補助金を交付
6	体育関係団体助成 【スポーツ振興課】	・県の体育活動の振興を図るため、各種の競技大会の開催や指導者の講習会、研修会等を開催する団体等に助成
7	スポーツ施設の管理運営 【スポーツ振興課】	・効果的なスポーツ施設の管理運営を行うため、県立水泳場、県富士水泳場、県武道館について、指定管理者制度による管理運営を行う。
8	ふじのくにスポーツ推進月間 【スポーツ振興課】	・毎年10月を「ふじのくにスポーツ推進月間」と定め、スポーツに親しむ月として啓発し、県民がスポーツに親しむ機運を高める。

	項目	内容
9	国体強化事業 【スポーツ振興課】	・国体及び国体ブロック予選を勝ち抜くため、国体及び国体ブロック予選に出場する選手を選抜し、強化合宿、県外遠征等を実施
10	ジュニア育成・強化事業 【スポーツ振興課】	・競技団体が選抜した小中高校生選手を対象にした、育成・強化に関する経費を助成
11	トップアスリート 強化事業 【スポーツ振興課】	・JOC強化指定を受けた本県選手又は国際大会、全国大会での活躍が見込まれる本県選手のうち、競技団体から推薦された国体候補選手を対象にした、合宿・遠征、外部指導者の招へい等の経費について競技団体に対して助成
12	指導者スキルアップ 促進事業 【スポーツ振興課】	・本県の競技力を高いレベルで維持・向上させていくため、指導者が上級コーチ等の資格取得講習会に参加するために必要な経費を助成
13	スポーツ医・科学 活用事業 【スポーツ振興課】	・国体の出場候補選手の競技力向上を目的として、メディカルチェック及び体力・運動能力等の科学的測定を実施し、スポーツドクター等により、測定結果に基づいた適切な健康管理及びトレーニング方法の指導等を行う。
14	ハイテクマシン 保守点検事業 【スポーツ振興課】	・ハイテクマシンによる新トレーニングを導入し、競技力向上を図るために、エコパ等に配置している最先端のトレーニングマシンの保守点検を実施するとともに、マシンによるトレーニングに必要な指導者を養成
15	静岡県ゴールデンサッカー アカデミー開催事業 【スポーツ振興課】	・選手・指導者の資質向上と、サッカーを通じた人づくり、国際交流や異文化理解の促進を目的に、海外からU-15チームを招聘し大会を開催するとともに、指導者交流研修会等を実施
16	国民体育大会等派遣事業 【スポーツ振興課】	・国民体育大会及び国民体育大会地区ブロック大会に出場する選手、監督等の派遣に要する経費の一部を県が負担
17	全国規模スポーツ大会 開催事業費助成 【スポーツ振興課】	・輪番等により県内で開催される国際規模及び全国規模のスポーツ大会等を開催する団体に対し、補助金を交付

	項目	内容
18	ジュニアアスリート 発掘・育成事業 【スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア期における選手育成体制が未構築の競技種目（マイナー競技）について、能力の高いジュニアを発掘し、アスリートへ育成 ・ジュニア世代に対する質の高い指導を行うため、指導者を養成
19	2020 東京オリンピック 候補選手支援事業 【スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 東京オリンピック出場を目指す選手を指定し、強化育成のための遠征・合宿に要する費用等を補助
20	トップアスリート等 派遣事業 【スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートやスポーツ分野の専門家を中学校の部活動に派遣し、生徒や顧問教師がトップアスリートから直接指導を受けられる機会を設けることで、今後活躍が期待される本県中学生の育成・強化を行うとともに、部活動の活性化を図る。
21	アスリート等雇用 支援事業 【スポーツ振興課】	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀な選手等を県内企業に定着させることにより、県内全体の競技力の向上に寄与することを目指し、雇用企業等へ支援金を交付
22	小学生世代へのラグビー の普及促進 【ラグビーワールド カップ 2019 推進課】	<p>ラグビーの競技人口及びファンの裾野を広げるとともに、ラグビーワールドカップ 2019 の開催に向けた機運醸成を図るため、以下の取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小学生を対象にラグビー元日本代表等を講師としたタグラグビー体験教室を開催 ・小中学校教員等を対象にタグラグビーの指導者研修会を開催 ・日本ラグビーフットボール協会が派遣したトップレベルの現役選手又はOBによる出前講座「スクラム先生プロジェクト」を実施
23	ふじのくにラグビーフェ スタ in エコパ 【ラグビーワールド カップ 2019 推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートップリーグのエコパでの開催に合わせ、小中高生、特別支援学校生を観戦無料招待 ・タグラグビー教室の開催、タグラグビー体験コーナーの設置
24	ヤングラグビーパーティ ー in エコパ 【ラグビーワールド カップ 2019 推進課】	<ul style="list-style-type: none"> ・県内在住・在学の小中学生と、本県開催試合出場国を中心とした在日小中学生との交流イベントを実施

	項目	内容
25	障害者スポーツ普及啓発 フォーラム 【障害者政策課】	・ 障害者スポーツへの参加機会の拡大、県民意識の醸成を図るため、県民を対象に障害者スポーツ普及啓発フォーラムを開催
26	障害者スポーツ応援隊 【障害者政策課】	・ リオパラリンピックに出場した本県ゆかりの選手 12名を障害者スポーツ応援隊に任命し、特別支援学校等において、障害者スポーツの普及啓発に係る講演や実技指導を実施

県立高校における新学科等の調査・研究について

(高校教育課)

1 要 旨

新たな学科の設置に係る調査・研究について、「静岡県教育振興基本計画」及び「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画(第三次長期計画)」に位置づけており、今後、地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会や総合教育会議等での議論を踏まえ取り組んでいく。

2 計画における位置づけ

(1) 静岡県教育振興基本計画

2018 年度から 2021 年度までを計画期間とする、静岡県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成 30 年 3 月に策定。

第 1 章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

< 主な取組 >

県立高等学校における新たな学科(ｽｰｯ・演劇・観光)の設置等に向けた研究

(2) ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画(第三次長期計画)

急激に変化する中で、生徒の実態や地域の実情等を踏まえた魅力ある学校づくりを推進するために、今後 10 年間程度(2028 年度)を見通した計画として、平成 30 年 3 月に策定。

3 魅力ある高等学校の実現に向けて

(工) 新たな学科の設置等の検討

本県では、「有徳の人」づくりに向け、「文・武・芸」三道の鼎立を掲げ、「技芸を磨く実学」の奨励に取り組むこととしており、これを具現化するための新たな学科の設置等を検討する。

(中略) 生涯を通じて誰もがスポーツに親しめる環境づくりや若者の才能を伸ばす実践的な学問とすることが求められており、本県のスポーツ振興に広く貢献できる人材育成を念頭に置き、競技力の向上のみに重点を置くことなく、地域のスポーツ振興や高齢化社会における健康長寿の実現に寄与できる指導者の育成等に配慮するものとする。

3 H30 年度予算

魅力ある学校づくり推進事業費

技芸を磨く実学の奨励

新しい専門学科の研究

スポーツ科、演劇科の設置に関する研究

3,000 千円

知性を高める学習の充実

グローバル教育の推進

スポーツ科について

（高校教育課）

1 本県の状況

	学校名	学科名	特徴的な取組
1	富士市立高等学校	スポーツ探究科	<ul style="list-style-type: none"> 心身を鍛え、スポーツを科学的、理論的に学ぶ。 静岡県内で唯一のスポーツ専門学科。
2	県立静岡西高等学校	普通科 (体育コース)	<ul style="list-style-type: none"> 学校裁量枠 で入学した生徒で編制。 呼び名は「コース」だが、類型と同じ。 生徒全員が運動部に所属し、中心選手として活躍すると共に、学校行事においてもリーダーシップが期待される。 平成 22 年度から「スポーツコミュニケーション教育」に取り組み、地域・社会に貢献できる人材の育成を目指している。
3	県立新居高等学校	普通科 (体育コース)	<ul style="list-style-type: none"> 呼び名は「コース」だが、類型と同じ。 1 年次にコース選択希望を取り、2 年次より編制する。 体育科の専門科目の他、自分の専門競技の向上を目指す。

（参考）富士市立高等学校スポーツ探究科のカリキュラム例

（出典：平成 30 年度学校案内）

(単位)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1 年次	国語総合	世界史 A	現代社会	数学 I	数学 A	人間生活	科学と保健	芸術 I	スポーツ概論	スポーツ I	スポーツ II	スポーツ III	スポーツ IV	スポーツ V	総合演習	スポーツ	総合英語	社会と情報	究タイム(総合)	LHR	野活動予選												
2 年次	国語総合	国語表現	地理 A	日本史 A	数学 II	生物基礎	化学基礎	保健	家庭基礎	スポーツ概論	スポーツ I	スポーツ II	スポーツ III	スポーツ IV	スポーツ V	総合演習	英語理解	英語表現	社会と情報	究タイム(総合)	LHR	野活動予選											
3 年次	現代文 B	地理 B	世界史 B	生物基礎	化学基礎	数学 B	華語基礎 I	選択(6単位) 2単位×3科目	★	スポーツ概論	スポーツ I	スポーツ II	スポーツ III	スポーツ IV	総合演習	スポーツ	英語理解	英語表現	課題演習	究タイム(総合)	LHR	野活動予選											

★国語演習、世界史演習、日本史演習、地理演習、数学演習α、数学演習β、簿記、ビジネス情報、生活産業基礎、スポーツIV、総合英語演習

スポーツ（陸上競技）スポーツ（各種球技）スポーツ（武道等）スポーツ（ダンス）
 スポーツ（野外活動）スポーツ（体操）

2 他県の状況

(1) 全国の学科設置状況（平成 28 年調べ）

- ・公立設置数 47 校（設置都道府県数 30）、私立設置数 9 校（設置都道府県数 8）
- ・総合学科における「体育に関する系列」設置校（9 校）

(2) 平成 29 年度富山県教育委員会による調査（「平成 30 年度全国公立高等学校第 1 学年定員等状況」より）

- ・「スポーツ」「体育」を冠する学科設置都道府県数 29
- ・「スポーツ」「体育」を冠する普通科コース設置都道府県数 24

(3) 特色のある事例

	学校名	学科名	特徴的な取組
1	奈良県立 大和広陵高等学校	生涯スポーツ科	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>トップアスリートの育成だけでなく、高齢化社会が求める生涯スポーツの指導者の育成を目指す。</u> ・ 学校全体として「スポーツを通しての人づくり」、「地域と共にある学校づくり」を推進。
2	岡山県立 玉野光南高等学校	体育科	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高度な運動技能を習得させるとともに体育・スポーツの振興発展に寄与できる人間の育成を目指す。</u> ・ 基礎体力の充実、各競技種目の基本技能及びルールの習得、さらに、野外活動の基礎などを身につけさせ、社会において、体育・スポーツ指導のできる資質を養っている。
3	船橋市立 船橋高等学校	体育科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育・スポーツの専門性の向上 専門競技の高度な運動能力を培うとともに、スポーツ栄養・傷害などのスポーツサイエンスを幅広く取り入れている。体育科講義室、トレーニング室、国際試合も可能な体育館等、理論と実践両面に対応した施設・設備を最大限に活用した授業を行う。 ・ 心身のバランスのとれた全人教育 キャンプ・スキー等の野外実習や運動部活動の経験から豊かな人間性を身につける。

演劇科について

(高校教育課)

1 本県の状況

	学校名	学科名	特徴的な取組
1	県立三島南高等学校	普通科	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定教科「舞台芸術」の開設 ・身体及び言語を中心とした舞台芸術に関わる総合的な学習を通して、人間が持つ表現力について認識を深め、豊かな自己表現の能力と創造性を育むとともに、集団の一員として、他者と協力しながら活動する態度を培うことで、社会の変化に柔軟かつ能動的に対応し、社会における自己の役割を主体的に果たすことのできる生徒の育成
2	県立浜松大平台高等学校 (定時制)	普通科	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定教科「演技表現」の開設 ・合理的な体の使い方や正しい発声法を身に付けることで、より良い人間関係を築くために必要な表現力の養成 ・演技への理解を深め、感性を高めることで豊かな情操の養成

(参考) 県立三島南高等学校普通科のカリキュラム例 (出典 : 平成 29 年度学校案内)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年 共通	国語総合		現代社会		数学I		数学A		物理基礎		生物基礎		体育		保健		音楽I 美術I 書道I 工業I		コミュニケーション英語I		英語表現I		家庭基礎		社会と情報		総合		LHR			
2年 理系	現代文B※		古典B		地理B※ 世界史A		数学II		数学B		化学基礎		化学※		物理※ 生物※		体育		保健		コミュニケーション英語II		英語表現II※		総合		LHR					
2年 文系	現代文B※		古典B※		世界史B※ 日本史B※		数学II 数学IA基礎演習 簿記		数学B 生物(演習)※ 情報処理 音楽II 美術II 書道II 工業II		化学基礎		世界史A 日本史A		体育		保健		コミュニケーション英語II※		英語表現II※		総合		LHR							
3年 理系	現代文B※		古典B 物理演習 生物演習		世界史A 日本史A		地理B※ 現代演習 化学演習		数学III 数学IIAB演習 数学IA発展演習		数学IIAB演習 情報処理 英語演習		物理※ 生物※		化学※		体育		コミュニケーション英語III		英語表現III※		LHR									
3年 文系	現代文B※		古典B※		世界史B※ 日本史B※		政治・経済 生物(看護)※ 現代演習 情報処理 音楽III 美術III ファッション造形基礎		世界史B発展演習 日本史B発展演習 政治・経済 生物(看護)※ 現代演習 情報処理 音楽III 美術III ファッション造形基礎		数学IIAB演習 数学IA発展演習 財務会計I 課題研究		音楽(保育) 書表現 社会の課題 中国語 新聞講話		絵画 フードデザイン 情報メディア 国語表現 専攻実技B		化学基礎演習 英語演習 生命の化学		生物基礎演習 古典演習 生物演習(英語)		原価計算		体育		コミュニケーション英語III		英語表現III※		LHR			

※2年次以降は一部案です。

※印は2年次から3年次にかけて継続履修

この他に全学年次で日本大学国際関係学部との高大連携授業での単位取得あり

2 他県の状況

(1) 演劇に関する学科を設置している高等学校数

7校（都立1、府立1、県立4、市立1）

(2) 特色のある事例

	学校名	学科名	特徴的な取組
1	東京都立 総合芸術高等学校	舞台表現科	<ul style="list-style-type: none"> ・「演劇」と「舞踊」の2つの専攻を設置 ・ダンス、古典芸能及び芝居作りを通して舞台表現者としての表現力や想像力の養成と資質向上 ・舞踊家に必要とされる基礎的な身体づくりと高度な技術の習得を目指した表現力、創造力の養成
2	大阪府立 東住吉高等学校	芸能文化科	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪芸術大学、近畿大学（舞台芸術専攻）による指導 ・舞台芸術（演劇領域、映像放送領域、伝統芸能領域）に関する総合的な学習
3	大阪市立 咲くやこの花高等学校	演劇科	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな情操を養い、望ましい人格を育てるための演劇を核とする学習方法 ・演劇教育を通じて、豊かな表現力・コミュニケーション能力を身に付ける

スポーツ人材活用推進事業（人材バンク）

（健康体育課）

1 要旨

総合教育会議での議論を受け、中学校、高等学校の部活動及び地域のスポーツ教室等の指導者不足への対応を図るため、優秀な指導者を登録しているスポーツ人材バンクを運用し、地域の人材の活用を促進する。

2 事業概要

(1) しずおかスポーツ人材バンクシステムの概要

ア 人材登録の内容

（平成30年6月1日現在）

カテゴリー	内容	認定要件
指導者	専門的競技指導者 （登録人数：237人）	・ 県体協、県教委、競技団体等が推薦した者 ・ 日本体育協会等の公認指導者 ・ 教員免許保有者 等
サポーター	トレーナー スポーツドクター等 （登録人数：33人）	・ 県体協、スポーツドクター協議会等が推薦した者 ・ 医師免許等保有者 等

指導者等紹介依頼者の登録情報は随時更新

イ 指導者への対応

- ・ 登録認定研修会：指導者登録認定のための研修会
- ・ スキルアップ研修会等：指導者の資質向上のための研修会（平成30年6月1日現在）

No	種目	登録数	活動数
1	弓道	25	9
2	卓球	25	15
3	バレーボール	22	8
4	サッカー	21	16
5	バスケットボール	20	11
6	テニス	15	4
7	剣道	14	11
8	硬式野球	13	6
9	パウンドテニス	11	0
10	ソフトテニス	11	3
11	陸上競技	10	6
12	ハンドボール	8	5
13	柔道	7	4
14	バドミントン	6	5
15	競泳	5	4
16	ダンス	4	4
17	フェンシング	4	2
18	ヨット	2	2
19	ボート	2	2
20	ソフトボール	2	0
21	体操	1	1
22	少林寺拳法	1	1
23	新体操	1	1
24	空手道	1	1
25	レスリング	1	1
26	水球	1	0
27	ホッケー	1	1
28	ラグビー	1	1
29	登山	1	1
30	馬術	1	1
	計	237	126

(2) しずおかスポーツ人材バンクシステムの運用

ア コーディネーターの設置

役割

- ・マッチング：学校等紹介依頼者と指導者をマッチングする。
- ・外部指導者の管理：外部指導者の認定・登録を行い管理する。
- ・ニーズの把握：外部指導者を求めている学校等のニーズを把握する。

体制

- ・人数：3人
- ・配置先：静岡県体育協会

イ 登録の促進

- ・各競技団体との連携体制を整え、指導者の登録を促進する。
- ・HP等の広報展開により、指導者登録を促進し、紹介依頼者のニーズに対応する。

(3) 事務局

静岡県体育協会（業務委託：平成28年度から）

地域スポーツクラブ推進事業

(健康体育課)

1 要旨

学校に希望する運動部活動がない、専門的な指導が十分に受けられない生徒のスポーツ活動を支援するため、県がモデル事業として、磐田市に地域スポーツクラブの設置を委託。

磐田市は、ヤマハ発動機(株)や静岡産業大学、市体育協会などと連携し、地域スポーツクラブの運営を行い、県は磐田市と協力してモデル事業の検証を行う。

2 地域スポーツクラブの内容(磐田市モデル事業)

(1) 常設のスポーツチーム

- ・学校に希望する部活動がない生徒に対して、その種目のクラブを設置
- ・人数不足により学校単独で大会に参加できない部活動が、合同チームにより大会出場

種目	練習日	指導者	入部者	練習会場
ラグビー	週4日 (月・水・金・土)	ヤマハ発動機ラグビー部OB、 スクールコーチ等	男子23人・女子1人 (他ヤマハララグビース クール生39人)	磐田市陸上競技場等
陸上	週5日 (月・火・木・金・土)	元企業陸上部監督・磐田市陸 上競技協会・静産大陸上部等	男子27人・女子18人 (豊田、豊田南、豊岡中)	磐田市陸上競技場等

【H29年度試合結果】

陸上：5名7種目 県大会出場 1名 全国中学校体育大会出場 200m 準決勝進出

ラグビー：県春季中学生選手権優勝 太陽生命カップ関西予選ベスト4

(2) スポーツ塾・スポーツ体験教室

- ・一層の技術指導等を希望する生徒に対して、学校の運動部活動に加えて、定期的なトレーニング機会を確保し、競技力向上が可能な場を提供
- ・健康づくり等のためにスポーツへの参加を希望する生徒に対して、スポーツ教室等を開催し、スポーツに触れる場を提供

【平成29年度活動実績】

種目	実施日	指導者	参加生徒数
1 卓球	10/14・11/18	磐田信用金庫 NTN 企業契約コーチ	110(83) 101(63)
2 トランポリン	9/23	静岡産業大学 監督・選手等	19(12)
3 ラグビー(高校生)	3/14	ヤマハ発動機 コーチ等	61(3)
4 女子サッカー	3/24	元日本代表選手、静岡産業大学監督等	31(31)
5 硬式テニス	10/8~3/11	Wish テニスクラブ、静岡産業大学コーチ	35(19)
6 男子バレーボール	12/2	静岡産業大学 監督・選手等	56(0)
7 バスケットボール	2/11・28・25	元日本代表選手、静岡産業大学監督等	119(93)
8 柔道	12/2	静岡産業大学監督 豊田町柔道クラブ	55(1)

会場：磐田市総合体育館、静岡産業大学、磐田スポーツ交流の里

()は女子の内数

3 H30年度活動計画

活動内容	4月	9月	12月	3月
常設のスポーツチーム	部活動開始(陸上部・ラグビー部)			~3月まで
種目の検討(部活動)	(5月)実態調査(6~9月)関係者検討会議(11月)種目決定(1月)案内・準備			
スポーツ塾	検討会議	塾	塾	塾
スポーツ体験教室		教室	教室	教室

スポーツ塾、スポーツ体験教室は、種目及び回数について随時検討していく

3 県の取組事例

(2) 子供たちの文化・芸術活動の促進

1 県の取組（教育委員会）

	項目	内容
1	文化・芸術に関する教育 【義務教育課】 【高校教育課】 【特別支援教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校では、音楽、美術、芸術等の教科により、表現及び鑑賞の活動を通して、子供たちの音楽や美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、豊かな情操を養う教育を行っている。 ・また、学校行事を通じて、音楽、美術等を鑑賞する機会を設け、子供たちが文化や芸術に親しむ活動を行っている。 ・中学校、高等学校では、部活動により、多様な活動の機会を設け、生徒が自主的、自発的に、文化に親しんでいる。
2	静岡県中学校部活動 推進事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県内中学校の文化活動の健全な発展を図り、文化的資質を高める。 静岡県中学校総合文化祭【5 専門部（吹奏楽・器楽、合唱、演劇・郷土芸能、美術・工芸、書写）】の開催、展示部門発表、ステージ部門発表
3	静岡県高等学校部活動 推進事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の文化活動の健全な発展と資質の向上を目指すとともに、芸術文化活動の振興を図る。 「静岡県高等学校総合文化祭」の開催 全国高等学校総合文化祭への派遣 芸術（芸能）教室の開催
4	「文化の匠」高校派遣事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化部活動に外部指導者（「文化の匠」）を派遣することにより、部活動の活性化を図り、本県の高専文化活動の充実に資する。 H29 実績：76 校、のべ 116 人
5	新しい専門学科の研究 （再掲） 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、「文・武・芸」三道の鼎立を具現化するための新たな学科（スポーツ科、演劇科、観光科）の設置に関する研究を進める。

（静岡県埋蔵文化財センターの取組）

	項目	内容
1	体験授業及び出前授業	<ul style="list-style-type: none"> ・土器や石器、火起こしの体験等の授業 H29 実績：24 校
2	フェスタ埋文	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加できる体験学習を実施 H29 実績：194 人

2 県の取組（知事部局）

	項目	内容
1	こどもたちの文化芸術鑑賞 推進事業 【文化政策課】	・豊かな心を育むとともに、文化芸術の素晴らしさを知ってもらうため、県内の中学生に学校行事として、グランシップや美術館等で音楽、絵画・彫刻等を鑑賞する機会を提供
2	音楽文化振興事業 【文化政策課】	・子供を無料招待する音楽公演及び子供向けワークショップ事業を実施する県内のプロオーケストラに対して助成
3	芸術文化鑑賞事業 【文化政策課】	・県民の豊かな感性の育成と芸術文化愛好の機運の醸成を図るために、優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供 ・県、市町又は市町教育委員会、(公財)日本青少年文化センターが主催者
4	ふじのくに芸術祭 【文化政策課】	・県民が自ら行う文化活動を支え、静岡県内の文化の向上発展を図ることを目的として、四季折々の特色ある事業により、広く県民に芸術作品の発表や鑑賞をする機会を提供する「ふじのくに芸術祭」を開催
5	ふじのくに子ども芸術大学 体験・創造講座 【文化政策課】	・第一線で活躍するアーティスト等との交流を通じ、優れた文化芸術に出会い身近に親しむ機会を提供するため、県内の小中学生を対象とした個人参加の「体験・創造講座」を実施
6	提案プログラム（オリンピック・パラリンピック文化プログラム） 【文化政策課】	・県内の文化資源の掘り起こしや担い手の育成を目的に、県内の民間団体等が実施する文化・芸術振興事業や、文化・芸術による地域・社会課題への対応事業を支援 ・今年度は、12事業を採択し、県西部の複数の中学校の生徒が集まり様々なジャンルの活動を体験できる「地域部活」も対象
7	世界の文化と暮らし出前教室 【多文化共生課】	・次代を担う子どもの多文化共理解教育を推進するため、本県が雇用する国際交流員等が県内の小・中・高校等へ出張し、母国の文化や暮らしを紹介

	項目	内容
8	ふじのくに留学生親善大使 【多文化共生課】	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流活動に意欲があり、帰国後も本県との交流の架け橋となることが期待される県内大学等に在籍する外国人留学生を「ふじのくに留学生親善大使」に委嘱 ・要望のあった学校を訪問し、児童生徒と交流
9	ふじのくに多文化共生フェア（アースカレッジ） 【多文化共生課】	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO、県国際交流協会等と連携して開催 ・「誰もがセンセイ、誰もがセイト。」をコンセプトに、小学生から大学生、外国人等様々な場で活躍する人が、日ごろの思いや活動を紹介
10	静岡県障害者文化芸術活動支援センターの設置・運営 【障害者政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の文化芸術活動の支援、すそ野拡大を目的に、今年度支援センターを開設 ・支援コーディネーターの配置 ・相談支援窓口の開設 ・情報収集・発信、ネットワークの構築 ・発表等の機会の創出、支援人材の育成 ・障害者芸術応援隊による出前講座の開催
11	静岡県障害者芸術祭の開催 【障害者政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の発表等の機会創出、県民の理解促進を図るため「静岡県障害者芸術祭」を開催 ・今年度より内容を拡大、充実させ、シンボルイベント、作品展・イベント、県民PRイベントを実施

（静岡県立美術館の取組）

	項目	内容
1	鑑賞講座等	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人までを対象に、企画展、収蔵品展ごとに学芸員によるフロアレクチャーや美術講座を開催 ・子供の来館が多く見込まれる企画展開催時は、親子又は園児・児童を対象とした鑑賞講座を実施 ・ボランティアによるギャラリートัวร์を定期開催
2	実技室プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで参加できる美術体験企画を実施 ・展覧会に応じたプログラムとして、気軽に短時間で体験できるものから（ちょこっと体験、わくわくアトリエ等）、二日間時間をかけて取り組むものなど（夏休み子どもワークショップ、実技講座等）を実施 ・親子で参加し、素材を全身で味わうプログラムとして、ねんど開放日・えのぐ開放日を実施

	項目	内容
3	美術館教室 (学校連携普及事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童、生徒を対象とした「ねんど教室」「えのぐ教室」等の実技プログラムを実施 ・児童、生徒を対象とした「ロダン館ななふしぎ」「ボランティアと鑑賞」等の鑑賞プログラムを実施 ・学芸員が各学校に出向き美術講座等を実施する出張美術講座を開催 ・学校の図工・美術の授業のサポートとして、アートカードや作品レプリカ等を貸出

(ふじのくに地球環境史ミュージアムの取組)

	項目	内容
1	展示解説	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者とインタープリター(展示交流員)とが議論を深めていく地球家族会議を毎日開催 ・小中学生等の団体を積極的に受け入れ、研究員等スタッフによる展示解説を実施
2	移動ミュージアム	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の小中学校等を巡回し、標本の展示を行うミュージアムキャラバンやミニ博物館などのアウトリーチ活動を展開
3	体験型講座	<ul style="list-style-type: none"> ・大型連休や夏休み、冬休み等の土日祝日を中心に、小学生から一般まで各世代に応じた体験型講座等を開催
4	連続講座(講演会)	<ul style="list-style-type: none"> ・各界で活躍する著名人や第一人者を招いた連続講座(講演会)を開催

(静岡県富士山世界遺産センターの取組)

	項目	内容
1	展示解説	<ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入れ等による世界遺産富士山の歴史、文化、自然等の紹介
2	普及・教育事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県民等を対象とした「富士山世界遺産セミナー」を開催 ・センターの研究員等が講師となって県内各地で講義を行う「出前講座」を実施
3	富士山に関する子ども向けイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・大型連休や夏休み、冬休み等に、小学生等を対象としたイベントを開催

3 公益財団法人静岡県文化財団の取組

	項目	内容
1	子ども学生料金の設定	・グランシップ企画事業の一部演目に、学生を対象とした、子ども学生料金を設定
2	中高生芸術鑑賞支援事業	・子ども学生料金の演目を、学校や部活動単位で鑑賞する場合には、チケット料金を更に値引き

4 公益財団法人静岡県舞台芸術センターの取組

	項目	内容
1	中高校生舞台芸術鑑賞事業	・県内中高生を対象に、平日に学校・学年単位で無料公演を実施 ・学校から劇場までのバス代を、中学校は全額補助、高校は半額補助（上限4万円）
2	おはなし劇場	・子育て世代の親子を対象とし、絵本の読み聞かせとは違い、俳優の声と音楽でつくる物語の世界を創作し、親子で演劇について理解を深めてもらう企画を県内各地で実施
3	SPACシアタースクール 「親と子の演劇教室」	・小学校6年生～高校2年生までの児童・生徒とその親を対象にして、夏休みの演劇教室を開催し、稽古及び発表会を実施
4	スパカンファン公演	・オーディションにより選考する県内の中高生と、フランスを拠点に活動を展開する振付家メルラン・ニヤカム氏が舞台作品を創造
5	高校演劇ワークショップ	・県内高校演劇部の生徒が、スタッフや俳優の指導により演技、演出、スタッフワークを学ぶ
6	異才・天才・奇才 SPAC こども大会	・子供たちの感性あふれる表現力を育てるとともに次世代の舞台芸術の担い手を育て応援するために、県内の小学生が歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸を披露し、才能を発揮する場として開催

【参考】特定非営利活動法人キッズアートプロジェクトしずおかの取組

	項目	内容
1	Kids Art Project Shizuoka 「しずおか ミュージアム パスポート」発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムパスポートを県内小学生全員に配布 ・小学生がパスポートを持参すると、参加 37 館の展覧会等を無料で鑑賞 ・各館オリジナルのスタンプをパスポートに押印した数に応じて、オリジナル記念品を進呈

静岡県文化プログラムにおける「地域部活」への支援

(文化政策課)

1 要 旨

静岡県文化プログラム推進委員会（事務局：文化・観光部文化政策課）では、東京オリンピック・パラリンピックに向け、多彩な文化プログラム（文化事業・活動）が県内各地で重層的に展開されるよう取り組んでいる。本県の文化プログラムの柱の一つである「提案プログラム」に応募のあった「地域部活」に対し、平成 29 年度から運営の助言や財政的支援を実施している。

2 「地域部活」の概要

県西部地域の複数の公立中学校の生徒を対象とし、音楽（吹奏楽を除く）、演劇等の多彩なジャンルを体験できる文化系の部活動「地域部活」が平成 30 年 4 月に創部された。

(1) 目 的

ア 文化部の選択肢拡大

県西部地域の公立中学校の文化系部活動の多くが、吹奏楽部と美術部の二者択一となっていることから、多様な文化・芸術を体験できる機会を提供する。

イ 感性が豊かで、寛容性と人間力をもち合わせた子どもたちの育成

異なるジャンルに関心を持つ部員が、多様な芸術的体験が可能なプログラムと一緒に活動することを通じ、感性豊かで寛容な心と主体性・協調性を育む。

ウ 文化活動の担い手の育成

中・高時代の 6 年間、地域部活で活動した後も、引き続き参画できる「サポートチーム」を設け、地域の文化活動の担い手を育成する。

(2) 主催及び指導者

主 催：一般社団法人ふじのくに文教創造ネットワーク（理事長 齊藤 勇）〈掛川市〉

指導者：元高校音楽講師、SPAC 俳優、朗読家ほか

(3) 対象地域（拠点：掛川市美感ホール）

掛川市を中心に、菊川市、袋井市、森町、磐田市、浜松市

(4) これまでの主な取組

時 期	内 容
平成 30 年 2 月	地域部活スターティングセレモニー
	小学 6 年生及び保護者を対象とした説明会
4 月	新・中学 1 年生を対象とした体験入部（6 回）
5 月～	活動開始（中学 1 年生、15 人が入部）
	・ 各種表現（音楽、演劇、放送）の練習と発表 ・ 優れたアーティストによる表現の鑑賞と交流 ・ 地域の様々な文化資源を「移動教室」として訪問 ・ 創造体験ワークショップ など

(5) 今後の展開

音楽、演劇、放送の分野だけでなく、講師や地域の支援体制（資金面、サポートスタッフ等）の充実に努め、文科系部活の分野の拡大を図る。

文化芸術分野の人材バンク構築に向けた検討

1 文化芸術分野の指導者等の派遣を行っている事業

(1) 文化教室、審査員・講師派遣事業（実施主体：静岡県文化協会）

- ・ 事業概要：県内各地域の芸術文化振興のため、文学、書道、美術、写真、音楽等の教室を開催、市町の文化事業に審査員・講師を派遣
- ・ 実施実績：文化教室 10 回、審査員・講師派遣 6 件（29 年度）
- ・ 派遣される人材：文化協会加盟団体会員
- ・ 団体組織：事務局長 1 人、スタッフ 1 人
- ・ 加盟団体：県内 29 団体

美術系	水彩画協会等 9 団体	音楽・舞台系	合唱連盟、バレエ協会等 12 団体
文学系	俳句協会等 5 団体	生活文化系	茶道連盟等 3 団体

(2) ふじのくに文化情報センター（実施主体：公益財団法人静岡県文化財団）

- ・ 設置目的：
 - ・ 文化・芸術に関する様々な情報の収集及び提供
 - ・ 文化を支えるネットワークを通じた活動団体等への相談・支援
- ・ 組織：
 - ・ センター長 平野雅彦（静岡大学教育学部特任教授）、スタッフ 2 人
- ・ 場所：グランシップ 1 階
- ・ 主な業務：
 - ・ 文化団体やアーティスト等の登録、紹介
（Web サイト「ふじのくに文化情報」の運営）
 - ・ 文化団体等への助成
 - ・ 県内文化団体等に対するセミナー、交流会等の開催

(3) 「文化の匠」派遣事業（教育委員会高校教育課）…… P27 参照

制度概要	県立高校（特別支援学校）の文化部活動に外部指導者を派遣し、派遣指導者に対し県から報酬を支払う。
報酬等	1 派遣先につき年間 33 時間を上限とし、@1,800 円 / 時間（H29 は@2,000 円）、別途、指導中の事故等に備え、県費負担で傷害保険に加入。
派遣実績 （29 年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人数：延べ 116 人、派遣校数：76 校（全県立校の 8 割強） ・ 対象分野：（多い順に）吹奏楽、美術、書道、音楽、箏曲、茶道、華道 他
派遣される 人材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校が選定した外部人材を、本事業の指導者として県教委が委嘱。 ・ 何らかの事情で外部人材の指導が継続できず、新たな指導者が必要となった場合でも、各学校の自助努力により新たな指導者を探すのが通例。

2 今後の検討事項

- ・ 設置主体（事務局及びマッチング機能）
- ・ 学校、民間団体等の需要
- ・ データベース化する人材の分野
- ・ 登録人材の認定要件 等

4 県教育振興基本計画における「技芸を磨く実学」の奨励に関連する施策とその位置付け

第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

2 「技芸を磨く実学」の奨励

一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様で柔軟な教育をより一層展開するため、農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツ等の様々な分野において自らの才能を伸ばす実践的な学問としての「技芸を磨く実学」を推進するとともに、郷土を担う子供たちの「生きる道」としての仕事を学ぶ環境づくりに努めます。

また、専門的職業人として社会の変化に柔軟に対応し、地域産業の発展に貢献できる人材の育成を図ります。

(1) 産業社会の担い手の育成

施策の内容

ア 地域の特色やライフステージに応じ、学校・地域・企業・研究機関等が連携した、望ましい勤労観・職業観を育む教育や職業に関する知識・技能を身に付けるための職業教育等の推進を図ります。

主な取組

ふじのくに実学チャレンジフェスタ の開催

専門学科等のある高等学校の職業教育への理解推進

高校生海外インターンシップの推進

職場見学・職場体験等の促進

「生きる道」としての仕事を学ぶため、「技芸を磨く実学」の大切さを知る体験、プロフェッショナルな職業や郷土の産業の魅力に触れる機会の提供

地域や産業界との連携強化の促進

高等学校におけるジョブ・サポート・ティーチャーの配置

キャリア教育に係る実践的な研修の実施

こころざし育成セミナー の実施

各技術研究所の見学や体験等を通じた地域産業に関する学習の支援、研修の実施

ふじのくに茶の都ミュージアムでの茶に関する情報発信及び体験メニューの充実

林業体験会や就業ガイダンスの開催

環境学習講座への職員の派遣

小・中・高・大学への講師派遣による出前講座や富士山世界遺産センターでの教育旅行の受入れ等による世界遺産富士山の歴史、文化、自然等の紹介

[担当：環境政策課、富士山世界遺産課、地域医療課、研究開発課、労働政策課、お茶振興課、林業振興課、建設業課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、総合教育センター]

イ ものづくりの楽しさや技能の大切さへの理解促進を図るとともに、ライフステージに応じてものづくりや技能に触れる機会を提供します。

主な取組

WAZAチャレンジ教室の実施

ふじのくに実学チャレンジフェスタの開催（再掲）

高校生ものづくりコンテストの開催に向けた支援

新たな施設・設備の充実を通じた実学の高度化

技能マイスターの活用

[担当：職業能力開発課、高校教育課]

ウ 多様な年齢層や障害の有無・状況等に応じたスキルを身に付けさせるため、幅広いニーズに応える職業訓練の充実や情報提供を図ります。

主な取組

誰もがいきいきと働ける環境づくり

個々の適性や就業希望に応じた多様な職業訓練の実施

しずおかジョブステーションの運営と学生の職業意識の醸成

障害のある人に向けた就労相談員の配置と職場定着の支援

障害のある人の相談支援体制の充実や就労支援

[担当：障害者政策課、労働政策課、雇用推進課、職業能力開発課、特別支援教育課]

エ 実践的な職業教育を行う高等教育機関の設置や、新たな成長戦略のための産学官連携による中小企業の人材育成等により、県内産業を支える人材を育成します。

主な取組

農林大学校の専門職大学への移行による農林業人材の育成

青年等の新規就農の促進

漁業高等学園における漁業就業者の育成
建設業の経営者や技能者を対象とする研修の実施
富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラムの開催支援
レーザーによるものづくり中核人材育成講座の開催支援
総合食品学講座の開催支援
職業能力開発短期大学校の設置による現場力のある高度な技術人材の育成
経験年数に応じた技術習得や低コスト生産システム普及に向けた研修開催
企業等と連携した在職者訓練の実施

[担当：職業能力開発課、新産業集積課、農業ビジネス課、林業振興課、水産振興課、建設業課]

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの推進

施策の内容

ア 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、国内外で活躍し、県民に夢と希望と感動を与えることができるトップアスリートの育成を目指します。

主な取組

東京 2020 オリンピック・パラリンピックや国民体育大会に向けたジュニア世代の育成と競技団体との連携強化
トップアスリートの強化・活用
選手の成長を見据えた一貫した指導が行われる体制づくり
スポーツ医・科学の活用
全国トップを目指す運動部活動への支援
指導者の養成・活用
トップレベルの指導法を学ぶ機会の提供
公益財団法人静岡県体育協会や競技団体、障害者スポーツ協会との連携強化

[担当：スポーツ振興課、障害者政策課、健康体育課]

イ オリンピック・パラリンピック教育の推進を図り、スポーツの価値や国際・異文化理解を深めるとともに、児童生徒のオリンピック・パラリンピック及びスポーツに対する興味・関心を高め、スポーツ活動の一層の充実を図ります。

主な取組

しずおか型部活動の推進と検証
スポーツ人材バンクの活用促進
部活動指導員や外部指導者の活用促進
運動部の指導者養成及び選手強化による運動部活動強化の推進
大学等との連携による部活動支援ボランティアの推進
全国トップを目指す運動部活動への支援（再掲）
全国高等学校総合体育大会（2018年度）の開催に向けた運動部活動の充実やおもてなし・大会PR等の高校生活動の推進
学校と地域が連携したスポーツクラブの推進
アスリートとの交流やパラスポーツ体験等のオリパラ教育を通じたスポーツへの興味・関心・理解の促進

[担当：健康体育課]

ウ 富士山静岡空港の就航先等、国内外の地域とのスポーツ交流を推進するとともに、国際的・全国的なスポーツイベントを誘致し、レベルの高いスポーツ競技の観戦機会の創出を図ります。また、国内トップレベルのプロスポーツや企業スポーツ等と連携し、スポーツの普及・振興を図ります。

主な取組

国内外の地域とのスポーツ交流の促進
国際的・全国的なスポーツイベントの誘致
ラグビーワールドカップ2019の静岡県開催の準備
東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡県開催の準備
東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致の支援
各種スポーツ大会の開催支援
小・中学生や高校生による国際交流親善試合等の開催
しずおかスポーツフェスティバルの開催

[担当：スポーツ振興課、オリンピック・パラリンピック推進課、ラグビーワールドカップ2019推進課、健康体育課]

エ 県民の多様化するスポーツニーズに応えるため、ライフステージに応じてスポーツに親しめる機会の創出を図ります。

主な取組

乳幼児期における「親子運動遊びプログラム」の普及啓発

成人期におけるスポーツ実態の調査・分析及びスポーツ振興施策の検討・実施

スポーツ・レクリエーション活動の普及

すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会の開催

障害のある人のスポーツ振興

学校と地域が連携したスポーツクラブの推進（再掲）

スポーツ人材バンクの活用促進（再掲）

[担当：スポーツ振興課、長寿政策課、障害者政策課、健康体育課]

オ 市町と連携し、地域の人たちが主体的に運営する総合型地域スポーツクラブに対し、スポーツの拠点としての活動の充実を促すとともに、スポーツを核とした地域の活性化や交流を促進します。

主な取組

市町における地域スポーツ拠点の活動の充実

地域スポーツクラブ交流会の実施

[担当：スポーツ振興課]

カ 県民が多様な形でスポーツに関わることができるよう、スポーツ情報の発信、スポーツ指導者の養成、スポーツボランティアの育成等、スポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

また、県立水泳場、県富士水泳場、県武道館、草薙総合運動場等、スポーツ施設を管理運営し、県民サービスの向上を目指します。

主な取組

スポーツに対する集中的な広報活動を行う「ふじのくにスポーツ推進月間（10月）」の推進

スポーツイベントの充実

スポーツイベント・スポーツ団体等に関する情報の発信

指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営

[担当：スポーツ振興課、公園緑地課]

(3) 多彩で魅力的な文化芸術の創造・発信と地域学の充実

施策の内容

ア 国の内外から注目され、その魅力を高く評価される“ふじのくに”の文化芸術を創造・発信する活動を推進します。

主な取組

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進

S P A C による舞台芸術活動の推進

文化資源に係る情報の収集や発信

「すこやか長寿祭美術展」等の発表の場の確保

障害のある人の文化芸術活動への支援

「ふじのくに多彩な和の食文化」の推進

[担当 : 文化政策課、長寿政策課、障害者政策課、地域農業課]

イ 文化芸術を大切にし、本物の文化芸術を見分ける力を育成するため、子供をはじめ多くの県民が文化芸術に触れる機会の充実を図ります。

主な取組

子供向けのワークショップである「ふじのくに子ども芸術大学」や中学校・高等学校での芸術鑑賞の支援等、子供が文化と出会う機会の充実
ウェブサイト「アトリエふじのくに」の運営等、県民に対する文化情報の提供

[担当 : 文化政策課]

ウ 文化芸術活動が継続・発展するための、文化芸術を支える仕組みの構築とネットワークの創出を図ります。

主な取組

文化プログラム等を通じた文化と他分野との協働の推進

アーツカウンシルの設立

ふじのくに「食の都」づくり

[担当 : 文化政策課、マーケティング課]

エ 子供たちの感性を磨き、文化芸術に親しむ心を涵養するため、子供たちの文化芸術活動を奨励するとともに、優れた才能を持つ子供の個性をより伸ばさせるため、外部指導者派遣等による文化部活動の充実を図ります。

主な取組

「文化の匠」の派遣促進

高等学校文化連盟と連携した高校生の文化活動の推進

学校単位での鑑賞教室等、中高生に対する芸術鑑賞の支援

芸術科高校生への美術館やS P A Cを活用した総合芸術に触れる機会の提供

[担当：文化政策課、高校教育課]

オ “ふじのくに”に根ざした地域学を基盤として、地域を知り、地域の良さを再認識できるような学習機会の充実を図り、郷土愛を育む教育を推進します。

また、観光をはじめとする様々な形で地域を支え、地域に貢献する人材を育成します。

主な取組

地域学の推進（地域学推進指定校の設定、フィールドワークの実施）

地域固有の自然、歴史、産業等の資源や人材を活用した学習の推進

市町等が作成した郷土資料等の授業での活用

景観学習教材の作成及び利活用

ふじのくに地球環境史ミュージアムの館内講座やアウトリーチ活動の充実

観光人材の育成

[担当：文化政策課、観光政策課、景観まちづくり課、義務教育課、高校教育課]

(4) 世界文化遺産をはじめとする文化財の保存・活用と未来への継承

施策の内容

ア 世界文化遺産である富士山や韮山反射炉の適切な保存管理を進めるとともに、顕著な普遍的価値や文化的価値に関する情報発信等を通じ、世界に誇るべき国民の財産である富士山と韮山反射炉の後世への継承を図ります。

主な取組

富士山包括的保存管理計画に基づく適切な保存管理と活用

「富士山世界遺産センター」における情報提供の実施

「富士山の日」運動の推進

富士山周辺の文化財保護

韮山反射炉の適切な保存管理

[担当：富士山世界遺産課、文化財保護課]

イ 文化財を適切に保護するため、文化財の調査・保存体制の充実を図るとともに、文化財の防災体制の整備に努めます。

主な取組

文化財調査体制の充実
文化財の指定・登録の推進
文化財保護審議会の開催
文化財の管理・保存のための支援
国・県指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の文化財パトロールの実施
文化財防災体制の整備の推進
文化財建造物監理士、文化財等救済支援員の養成

[担当：文化財保護課、埋蔵文化財センター]

ウ 文化財に誇りと愛着を持つ県民意識を醸成するため、文化財の展示・公開や学びの場の提供を図るなど、県民の文化財への関心を高めます。

主な取組

市町や文化財所有者等と連携したしずおか文化財ウィークの実施
民俗芸能フェスティバルの実施と担い手の育成支援
文化財に関する講演会・シンポジウム・考古学セミナーや遺跡調査報告会の開催
埋蔵文化財センター常設展示・巡回展の充実
体験授業・出前授業等による学校教育との連携強化
出土文化財の管理活用体制の充実

[担当：文化財保護課、埋蔵文化財センター]

5 出典一覧

1 県の教育施策に関する意識アンケート（平成 29 年度）（教育政策課）

調査対象	県内在住の満 18 歳以上の男女
調査時期	平成 29 年 7 月～ 8 月
調査方法	郵送調査法
調査結果	調査対象総数 2,500 人、有効回答数（率） 1,184 人（47.4%）

2 文化に関する意識調査（平成 27 年度）（文化政策課）

調査対象	県内在住の満 20 歳以上の男女
調査時期	平成 28 年 2 月（3 年毎に実施）
調査方法	郵送調査法
調査結果	調査対象総数 2,000 人、有効回答数（率） 764 人（38.2%）

3 平成 28 年社会生活基本調査（総務省）

調査対象	全国から無作為に抽出した約 8 万 8 千世帯の 10 歳以上の世帯員
調査時期	平成 28 年 10 月
調査方法	調査員が調査世帯ごとに調査票を配布し、 世帯は調査員等へ調査票を提出又はインターネットで回答
調査結果	調査対象総数 約 20 万人、回答数 約 19 万人